

テレビドラマのヒット要因に関する
マーケティングデータ

朝日大学マーケティング研究所

調査概要

調査方法 デプスインタビュー

調査期間 2005年8月23日(火)～8月31日(水)

調査対象 首都圏在住の女性
高校生、大学生、社会人で、2005年夏クールのドラマを
1番組以上視聴していると回答した人からランダムに抽出

調査数 12名

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
区分	F1(未婚)	大学生	高校生	F1(既婚)	大学生	F1(未婚)	高校生	F1(未婚)	大学生	F1(既婚)	高校生	F1(既婚)
性別	女性	女性	女性	女性	女性	女性	女性	女性	女性	女性	女性	女性
未婚	未婚	未婚	未婚	既婚	未婚	未婚	未婚	未婚	未婚	既婚	未婚	既婚
年齢	25歳	21歳	18歳	28歳	19歳	26歳	15歳	26歳	20歳	32歳	18歳	25歳
職業	会社員	大学生	高校生	会社員	大学生	アルバイト	高校生	会社員	大学生	専業主婦	高校生	専業主婦

対象ドラマ

クール	番組名	曜日	時間	局
2005.7月	スローダンス	月	21:00	CX
2005.7月	海猿	火	21:00	CX
2005.7月	がんばっていきましょい	火	22:00	CX
2005.7月	おとなの夏休み	水	22:00	NTV
2005.7月	女系家族	木	22:00	TBS
2005.7月	電車男	木	22:00	CX
2005.7月	ドラゴン桜	金	22:00	TBS
2005.7月	女王の教室	土	21:00	NTV
2005.7月	いま、会いにゆきます	日	21:00	TBS
2005.4月	離婚弁護士 ～ハンサムウーマン～	火	21:00	CX
2005.4月	anego ～アネゴ～	水	22:00	NTV
2005.4月	瑠璃の島	土	21:00	NTV
2005.1月	救命病棟24時	火	21:00	CX
2005.1月	ごくせん	土	21:00	NTV

調査項目

- ・ドラマ視聴の変化
- ・番組別視聴評価(見続けている理由)
- ・視聴中止の理由(途中で見なくなってしまった理由)

1. テレビドラマ視聴とパソコンの利用

パソコンと携帯を手元に置きながら視聴

夕方帰宅後の自宅での過ごし方を聞いたところ、今回調査対象となったどの世代においても、テレビを見る時間と同程度、あるいはそれ以上にパソコンをしている姿が浮き彫りにされた。また、インターネットやメールをしながらテレビを視聴しているというケースも数多くみられた。

「このドラマは見なくては」という強い視聴意欲を持って、集中して見ているドラマもあるが、パソコンをしながら、あるいは、携帯メールを打ちながら、といった「ながら視聴」が増えている。

<具体的な発言事例>

パソコンと携帯を手元に置きながら視聴

< C 18歳未婚女性 高校生 >
「(パソコンは)毎日してますね。チャットじゃなくて、ネットを毎日。最近は、いろんな掲示板とか、ブログとかを読んでますね。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >
「前は、ちょっとつまらないドラマでも見てましたけど、最近はネットの方がおもしろいんで、そっちの方見ちゃいますね。(最近というのは)去年の終わりくらいからですね。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >
「(21時以降は)テレビ見たり、ネットやったり。他には、家事ですかね。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >
「(帰宅した後は)ごはん食べて、で、その間にテレビ見て、で、パソコンやったりとか。風呂入ったりとか。そんな感じですね。(パソコンとテレビだと)パソコンの方がやってますね。(パソコンを使うようになって、テレビを見る時間は)減ってますね。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >
「(テレビ)見ながら(ネット)結構やったりとかするんですよ。割とどのドラマも結構見ながらネットしたりとかもする。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >
「(帰宅した後は)ネットやったり、やっぱテレビ見たり、食事とか片付けするくらいですか。ネットは深夜とか多い。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >
「メールとかだったら、一応読んで、終わった後やったり。まあ短い内容だったら、その場で見ながら打っちゃったりしますけど。(『スローダンス』の時は)電話だったら取る。メールだったら(ドラマを見終わった)後にするか。メールだと、後にしたり、見ながら打ったり。セリフを言っている時は一応見て、で、なんか風景が、会話がなくなるとか、CM中とかに、短い文だったらもう打っちゃいますね。意味が繋がらないくらい見ないとダメで、ちょっと内容がわかる程度に動きを追って、打っちゃう。どのドラマでも、ちょっと考えなきゃいけないようなメールだったら、後にしますけど。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >
「(テレビを見ない時にしていることは)勉強とか。あと、パソコン(インターネット)とか。(テレビを見るよりネットをしている方が楽しい?)はい。」

< G 15歳未婚女性 高校生 >
「昼ドラはネットやりながら見てます。(『海猿』の時はやりながら?)はい。『電車男』はその回によって違う。(どちらかという)ネットやりながら見る方が多い。」

< G 15歳未婚女性 高校生 >
「CMとか、そういう風に区切りがあると、『CMだから今のうちにちょっとだけパソコンやっちゃおう』みたいな風にやっちゃっても、やり出すとパソコンの方も楽しくなっちゃって。」

< G 15歳未婚女性 高校生 >
「(平日もネットでブログを更新)してますね。毎日。(家族の)誰かが立ち上げて(パソコンが)ついてるから、オークションとかフリマとか、ちょっとやってる。そういうのとか確認で見て、誰かが(ブログに)コメントとかを書いてくれたりすると、その返事とかはしたりしながら。この前は『電車男』見ながらちょっと書いてた。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >
「(普段インターネットで見るのは)割とヤフーオークションとか多いですね。あとは宝塚が好きなので、宝塚の(ホームページ)とかですかね。(ブログは)見たことがあります。ブログは何か調べたいところとかあるじゃないですか、そういう時にブログってパッと出てくるので。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >
「(家に帰ってからは)テレビを見るか、パソコンでインターネットしてるか、たまにピアノを弾いたり。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >
「一応、パートに出ている日もあるんですけど、仕事がなければ家で家事とか、インターネットとか自分の好きなことをして過ごして。(インターネットは)昼と夜と空いた時間って感じですかね。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

2. ドラマ視聴の変化

「この人が主演だから見たい」は減少

以前は、木村拓哉、松嶋菜々子、山口智子など、「この人が主演なら是非見たい」という強烈な吸引力をもったタレントによってドラマの視聴が左右される傾向が強かった。しかしながら、ここ最近では、一人のタレントがひきつけるパワーだけでは継続視聴させ続けることが難しくなってきた。タレントそのものの魅力が低下したというよりも、視聴者側の期待と要求が際限なく高まっているという背景がある。「一人の主演」だけでは、飽きてしまう、すなわち、興味を持続できないということかもしれない。

<具体的な発言事例>

「この人が主演だから見たい」は減少

「あんまり出演者とかは気にしてないですね。やっぱり月9っていうその枠がすごい有名になるので、あんまり出演者とか関係なく、大体見る。結構その他の枠のドラマは、ストーリー的にもおもしろそうだったら本当に見るし、1回見て別にいいやって思うものはもうずっと見ないので、だからそういう面では、見るか見ないかっていうのは他の枠ではすごいはっきりしてるので、出演者とかは特に気にならない。」

< A 25歳未婚女性 会社員 >

「(この人が出ていたらそのドラマを必ず見たいと思う俳優さんは)女優さんと黒木瞳さん。あと、見たいなって思うのは柴咲コウさんとか、竹内結子さんとか。今ちょっとお休みされてることが多いんだけど、松嶋菜々子さんとかは好きですね。俳優さんと阿部寛さんとか。あと、やっぱりSMAPの方が出てくるものは見たいなとかって思いますね。あと女優さん、仲間由紀恵さんを忘れてました。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

「(必ず見たいと思う俳優さんは以前と比べて減ってきていると)思いますね。やっぱり子どもと見るようになると、時間がないのでダラダラ見るのがなくなってきたので。(減ってきたのは)もしかしたら5年ぐらいかもしれないですね。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

「木村拓哉さんとか、最近出てないですけど松雪泰子さんとか出てたりすると、ちょっと見てみようかなって。(この人が出ていたらそのドラマを必ず見たいと思う俳優さんは)減ってきているかもしれないですね。自分が一番ドラマにハマって見ていた時に出ていた人が、逆に、入れ替わりじゃないですけど、メインで出てこなくなってしまうので。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「(ドラマにハマっていた時期は)20歳前後ですかね。(その時出てた人は)山口智子さんとか、松嶋菜々子さんとか。男の人は、この人っていうより、どれだけ役にハマってるかみたいところ、役に合ってるというか、阿部寛さんとかも、前は全然ダメだったんですけど、ドラマで印象がよくなったり。あと、江口洋介さんとかも、『救命病棟24時』とか、ああいう役の時にいいなって。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

3. 見続けられるドラマ

出演者が好きだから見る

従来からの恋愛ストーリーでは、人気タレントの主役二人を見たいという理由だけで、連続ドラマを視聴している視聴者も少なくない。そして、その好きなタレントが相手役の人気タレントと掛け合うシーンに注目して見ているというのがお決まりのパターンである。「学園もの」と言われる先生と生徒を描いたドラマ、ラブコメディ、ホームドラマなどにおいても、主人公を演じるタレント、あるいは、主人公を取り巻く出演者たちの掛け合いを見るのが楽しみでドラマを視聴している。もちろん、出演者が嫌いで、そのドラマを見たくないという逆のケースもある。

<発言まとめ>

「スローダンス」

主役の妻夫木聡や深津絵里が好きだから見たい

「主役二人の掛け合い(会話、けんか、酔っている)シーン」が笑えるし、見入ってしまう

(1回の番組中に掛け合いのシーンが2回程度ある)

お互いが自分をさらけ出しているところがよい

「電車男」

主役の伊藤敦史が可愛いので応援したくなる

主役の伊東美咲が好きで見ている

「主役の二人がデートしているシーン」や「二人が仲良く会話しているシーン」は見入ってしまう

出演者が好きではない

「海猿」

主役の伊藤英明と加藤あいの掛け合いが気になる

出演者がいい

加藤あいが出ているから見たい

「女王の教室」

主役の天海祐希がかっこいい

主役の子供たちが可愛い

「先生が生徒に忍び寄っていくシーン」、「子供たちが先生に対抗することを考えているシーン」、「生徒たちが先生に立ち向かっていくシーン」など、先生と生徒の絡み合いが気になる

子役があまり好きではない

「ドラゴン桜」

出演者(阿部寛、山下智久、小池徹平、長谷川京子)が好き

阿部寛がはまり役

「女系家族」

主役の米倉涼子の役柄が気になる

演技派の俳優がたくさん出ている

「anego」

主役の篠原涼子の綺麗で可愛いところに憧れる

主役がかっこいい

主役を応援したくなる要素がある

「プロポーズの受け答えシーン(二人の関係)」、「女同士の立ち飲み屋のシーン」が見たい

「ごくせん」

キャラクターがぴったり(主役の仲間由紀恵がはまり役)

「主役の仲間由紀恵(山口久美子役)と大江戸一家の子分が絡むシーン」が好き

3. 見続けられるドラマ

<具体的な発言事例>

出演者が好きだから見る

「スローダグズ」

「(妻夫木聡と深津絵里の)そのかけ合い(が見逃せない)。2人がしゃべって、ちょっとケンカしてるのかなんか、そういうシーンが笑えるから、そういうのは見逃したくないですね。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「妻夫木(聡)君がいいっていうのが、(妻夫木聡が見れるだけでいいという)結構、そうかもしれない。(好きなシーンは主演の)2人のやりとり。あと、広末涼子が一途なところ。一途なんだけど、周りにふらふら、良い顔をしているっていう役が、そっちの方が(本人の)イメージに合っているというか。見てて、何やってるんだらうって思うんですけど、演技が上手だなんていう風に思えますし。(見入ってしまうシーンは)深津絵里と妻夫木(聡)君がしゃべっている時とか。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >

「深津絵里がパーってしゃべって、かわいいなとか思って。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >

「(出演者が)違ったら見なかったかもしれないですね。蛭原友里とかはちょっと気になりますね。今までドラマに出ての見たことないので。広末(涼子)とかはあんまり好きではないので、どっちでもいいかなぐらい。(蛭原友里)は結構好きですね。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「深津(絵里)さんが結構好きなので。で、相手役が妻夫木(聡)君で、あの人もまあまあ好きだったんで。主役が良かったら、なんか見てみたいって。なんか、(始まる)前の宣伝文句で、普通の恋愛模様をやるみたいで。で、深津(絵里)さんがそういう役合ってるかな、とかすごい思ってたんで。で、それがやっぱハマってるなって思って。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「主人公同士のかけ合い漫才みたいな。言い合っているとか。好きですね。楽しい。(1時間の中では)結構出てくる回もあれば、でも、全体的に2回ぐらいは出てきてると。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「(特に好きなシーンは)深津絵里と妻夫木(聡)さんとの絡み。(主役の)2人が言い合っているのがおもしろくて。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「出演者も好きです。深津絵里さんも好きですし、妻夫木(聡)さんも好きです。あと、藤木直人さんも好きです。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「(印象に残るシーンは)なんか、土手かなんかに座ってて、(主役の2人が)お互いの夢みたいなのをしゃべってるシーンがあったような。なんか、いいなと思ったんですよ。なんかお互いをさらけ出してる感じが。主役の2人のケンカシーンとか。お互い正直にものを言っている感じが、やっぱりさらけ出してるって感じで。それがいいと思いました。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「妻夫木(聡)さんの、前の『オレンジデイズ』とかが結構、良かったのと、あと藤木(直人)さんが出るんで。で、あと女優さんが、深津絵里さん。でも深津絵里さんと妻夫木さんってあんまり合わないかなってというのは思ったんですけど。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

「電車男」

「主役の人(伊藤淳史)が、役がちょっと弱いのが、あんまり好きじゃなかった。はっきりしない人はあんまり好きじゃない、そういうのが好きじゃないんでっていうのもありますし。周りは確かキャラが濃かったんですけど、主役の2人が全然、あんまりキャラがないってのが、思ったんで。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「(好きなシーンは)主人公の)挙動不審なところ。エルメス(伊東美咲)がかわいいとか。キャラクターが。顔はかわいいんだけど、性格があったかいて感じ。『なんで、相手が電車男(伊藤淳史)なんだらう?』みたいな不思議に思うっていう感じでしょうかね。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >

「(見ている時思うことは)伊藤淳史かわいいなって。(主役の2人が)デートしてる時とか。ニタツとして、『かわいいな』っていう。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「やっぱ男の主人公(伊藤淳史)の方が好きじゃなくて。おもしろかったら見ようかなと思ったけど、なんか好きになれなかった。相手役の人(伊東美咲)、あの人は結構好きだから、1回目見ようかなって思ったんですけど。だけど、やっぱ主人公の男の方がそんな好きじゃなくて。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「(見入ってしまうのは)電車男(伊藤淳史)とエルメス(伊東美咲)のやりとり。」

< G 15歳未婚女性 高校生 >

「チビリダー(伊藤淳史)、あの人がちょっと私の中でダメなんです。伊藤(淳史)さんが、ちょっと生理的に受け付けない。映画の方は、山田(孝之)君が、すごいガラッと変わっていい男になったんで。やっぱり、映画の方が良かったから、私は、『ちょっとな一気持悪いな』っていう。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「(楽しみなのは)やっぱり、主演の2人が一緒にいるところ。エルメスさん(伊東美咲)の、オタクに偏見がないところとか、オタクと一緒にいても楽しそうところとか。そういうの懂れます。(2人が)普通に仲良くしていることですね。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「(見ていて楽しいのは)やっぱり、(主演の2人が)一緒にいて楽しそうところとか。2人が純粹なところがいいとか。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「(『電車男』)はあんまり好きじゃない。伊東美咲さんがあんまり好きじゃなくて。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

3. 見続けられるドラマ

< 具体的な発言事例 >

出演者が好きだから見る

「海猿」

「人間関係とか。(潜水士達)もそうだし、あと、加藤あいと伊藤英明の関係とか(が気になる)。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「加藤あいもそうなんですけど、伊藤英明も割と好き。佐藤隆太も結構好きですね。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「(見続けている決め手は)スケールのでかさ。あと、ちょっとB²が曲歌ってることと、仲村トオルが最近かっこいいなっていうのと、知らない世界が楽しい、ですかね。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「女王の教室」

「子ども達が割と可愛いっていうのとか。あと、子ども同士のやりとりとかがおもしろいかなと。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「(おもしろいのは)生徒達が先生に立ち向かっていくところ。」

< G 15歳未婚女性 高校生 >

「ちょっと主演の女の子(志田未来)があんまり好きじゃない。演技とか。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「天海(祐希)さんがすごいかっこよくて。すごく嫌な先生だと思うんですけど、なんですけど、なんかそれをあんまり感じさせないというか、あのクールさがすごいっていうか。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

「先生(天海祐希)がこう、どンドン忍び寄ってくる時に子ども達がビクッとするとところとか、『なんかほんとに怖いんだろなあ』と思うんですけど、実際の学校じゃあんまりありえないことなので。なんかあれもちょっといいんでしょうね。それと、子ども達がいろいろその先生に立ち向かっていくところも好きなだけけども。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

「怖いもの見たさっていう、そういう感じですね。後ろから先生(天海祐希)が来る時とか、悲鳴じゃないけど『ああ、来たっ』みたいな。お化けが出てくるみたいな感じで。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「先生(天海祐希)にいろいろ理不尽なことを言われても、それに立ち向かってがんばろうって思ってる女の子とか、そのクラスの周りの子達が一生懸命がんばる姿も見れるし、いろいろ言われても最後までやり遂げてるところがある、そういうところが好き。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「ドラゴン桜」

「阿部寛さんの、ちょっとヤクザみたいな、そういう、ちょっと怖いだけっていうの、そういうのが好きだったんで、いいかなと。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「主演が阿部(寛)さんで、っていうのは結構惹かれたんですね。で、その見た目的に怖いんだけど、ちょっとボケる時が、シーンがいくつかあって、それをもっと増やしてくれたらいいなっていうのを、ちょっと思ってますね。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「長谷川京子さんが、結構昔は苦手だったんですけど、今の先生役が結構ハマってて、『こういう役の方がいいな』っていうのは思いました。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「(阿部寛と長谷川京子の2人の)やりとりもおもしろくなってきているので。最初はただ否定、長谷川さんが否定してるだけで、阿部さんが無視みたいな感じだったんですけど、今はなんかお互い2人で協力してみたいな感じでやってるので、なんかおもしろくなってきたかな。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「(『ドラゴン桜』は)おもしろいと思います。なんか阿部寛がすごいハマり役だなって思いました。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「たぶん、私がすごい今も見続けているっていうのは、出演者が好きだったというのが大きくて。もし違う人達で、大して興味がない人達が出てたら、見てないんじゃないかなと思いますね。長澤まさみとか、結構私は好きなんです。あと、小池徹平とかが違ったら(見てなかった)。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「やっぱり出てる人に、それほど嫌いというか、そういう役者さんがいなくて、主人公(阿部寛)もまあまあ好きだったから。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「ストーリーもおもしろそうだし、俳優も好き。最近阿部(寛)さんが好きなんですけど。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「(見たいと思ったのは)出演者。あと、やっぱり高校生の話なので、最初は見たいかなと。(出演者は)阿部(寛)さんとか山下(智久)君とか。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「(見続けている決め手は)やっぱり阿部寛さんかしら。(役とイメージが合っている?)そうですね。割といいんじゃないかなとは思いますがね。娘がすごい阿部寛さんが好きで。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

3. 見続けられるドラマ

< 具体的な発言事例 >

出演者が好きだから見る

「女系家族」

「米倉さんの前回の『黒革の手帖』、あれがおもしろかったので、なんとなくそれに(近い)、まあそれと真逆の役だったんですけど。ちょっと他のドラマと違う感じがしたので。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

「出てる俳優さん達が割と演技派の方が多いと思うのでいいんじゃないかなっていうのと、最近ドラマにすごく下手な俳優さんとかが出てたりすると『ん?』って思うので、すごくいいんじゃないかなと。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

「前に米倉さんが出て魔女の役(『奥様は魔女』)とかやった時は、なんかあんまり上手じゃないと思ってたんですけど、『黒革の手帖』のああいふ役もすごく合ってたので、今度のこれ(『女系家族』)も合う、おもしろいんじゃないかなって思っ。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

「anego」

「篠原涼子がすごく可愛くて、ちょっと年代は上なんですけど、全然見た感じとかも30代とは思えなくて、綺麗ですごく憧れるっていうか。」

< A 25歳未婚女性 会社員 >

「たぶん同性の人からも好かれるし、男性からもやっぱり好かれるし。結構何でも言い合えるっていうか、言っても本当にいる相談に乗ってくれそうだし、本当に頼りになりそうだから、周りにもしれればすごい人気者になるんじゃないかな。」

< A 25歳未婚女性 会社員 >

「プロポーズをする時に、篠原涼子の受け答えとか返事の仕方とかがすごく可愛くて、普通30代でそんな感じだと、男の人が更に若かったりすると引かれちゃったりとかするかもしれないですけど、でも篠原涼子の可愛さで、そういうプロポーズの受け方だったら可愛いと思う。」

< A 25歳未婚女性 会社員 >

「働く女性の、結婚してなくて、自分と違う人のそういう焦りとか、よく表れてて(よかった)。(好きだったシーンは)立ち食い呑み屋で女同士でしゃべっているところとか。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >

「(篠原涼子の良さは)かわいいいけど、キレイ。チャーミングな女性。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >

「篠原涼子がすごいかわいくなって思った。篠原涼子と赤西仁の2人の関係とか。あと、山口紗弥加と、職場のもう1人の男の人(山口馬木也)とのやりとりとか。あと篠原涼子とその職場の女の子達との関係とか(がおもしろかった)。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「(篠原涼子を見て)結構いいなと思いましたね。なんかすごいみんなから慕われてる。なんか『アネゴ』っていう言葉がすごいハマってるっていうか。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「篠原涼子が好きなので、で、あとちょっと、赤西仁が最近出てきてるじゃないですか、で、『可愛いよね』ってみんな言ってるから。なんとなく、篠原さんの仕事の仕方っていうのはちょっと共感できなかったんだけど、彼女がすごい可愛かったから、だから見てたかな。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「(特に好きだったのは)だんだん相手役の人が(篠原涼子に)惹かれていく姿とか。あとは、後輩にすごい慕われて、『アネゴ』って呼ばれてることとか。憧れちゃうかな、やっぱり。女同士で慕われるっていうのがすごい。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「ごくせん」

「仲間由紀恵さんと、その実家のヤクザのやりとりとか。そういうのが好きでした。やっぱおもしろいから。仲間由紀恵さんが、すごいああいう役がピッタリな気がして。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「(見たいと思ったのは)出演者が良かったので。(仲間由紀恵以外にも)生徒さん役とかみんなかっこよかったので。(1作目では)マツジュン(松本潤)さんとか。(2作目では)赤西(仁)君が良かったと思います。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

3. 見続けられるドラマ

ストーリーに一喜一憂する

単純に泣いたり笑ったりできるドラマはよく見られている。言い換えると、1回の番組の中で、笑えるシーンもあれば、ジーンとくるシーンもあって、まさに、泣き笑いを同時に体感できるドラマは受けている。喜怒哀楽が感じられる、すなわち、情動を喚起されることで満足感が得られる。

また、そのドラマを通じて「私もがんばらなきゃと思う」、「同じ思いがする」など、勇気付けられたり、共感できたりする要素が盛り込まれていると引き込まれてしまうことも多い。番組を見終わった後も、気分を害することなく、心暖まるなど、余韻が心地よいドラマも受けがよい。

<発言まとめ>

「スローダンス」

笑えるシーンもあれば、せつない感じも残る

「電車男」

「アキバ系のオタク仲間が集まって話をしているシーン(番組中に必ず1回はある)」が面白い

「ネット上で入力している文字が表示されるシーン」、「絵文字を使ってメール送信するシーン」が笑える

主演がアキバ系の格好をしている時と、スーツを着ている時のギャップが面白い

笑えるシーンだけでなく、泣けるシーン、ジーンとするシーンがある

「海猿」

泣ける場面、笑える場面、心暖まる場面があって感情が刺激される

「女王の教室」

主人公の先生(天海祐希)が怖い

子供たちが可愛そう

何もしない校長や教頭にむかつく

予告前に映る主演のテロップの背景映像が、演じる役柄とギャップがあってよい

あまりにもひどい先生なので、気分が悪くなる

「ドラゴン桜」

型破りな先生(阿部寛)が面白い

「こんな先生いたら面白いだろうな」と思う

「主人公が怖いのがケるシーン」は笑ってしまう

「いろんなことをしながら公式などを覚える(受験法)シーン」は楽しい

面白いと感じたことはない

「女系家族」

理不尽な仕打ちが面白い

「がんばっていきまっしょい」

自分ができなかったことをしてくれているので懂れる

「いま、会いにゆきます」

「自分もそういう家族を持たらいいなあ」と思うような心暖まるドラマ

1回の番組の節々に感動する場面がある

「離婚弁護士」

自分の目標にしたい女性ががんばっているドラマからは元気がもらえる、勇気付けられる

弁護の依頼人との係わり合い、仲間とのやりとりは尊敬の念をもって見ている

主人公は格好いいだけでなく、弱いところがあって共感できる(人間味がある)

「救命病棟24時」

医師と患者の心暖まるシーンに、緊迫感溢れる手術シーンもあり、1時間の番組内にメリハリがある

「ごくせん」

1回の番組の中に、笑えるシーンが何回かあるから楽しい

3. 見続けられるドラマ

< 具体的な発言事例 >

ストーリーに一喜一憂する

「スローダンス」

「(主役の)2人がしゃべって、ちょっとケンカしてるのかなんか、そういうシーンが笑えるから、そういうのは見逃したくないですね。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「すごいそれぞれの人の気持ちがわかる。わかりやすいので、見ててもどかしくなったりとか。『あっ、なんで?なんで?』とか。感情移入しますね。なんかもどかしい気持ちでいっぱいなんですけど、でも、それが逆にいいかな。次が気になります。『体験しようかも』みたいな、そういう雰囲気、気持ちにさせられます。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「その主役の2人の恋愛みたいな、だけじゃなくて、周りの出演してる人達の間の恋愛とかも、同じぐらいおもしろいっていうか、主役の2人だけじゃないっていうのがいいかな。(自分も)こういうのもこれから体験するのかな、とか。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「(特に好きなシーンは、深津絵里と)妻夫木(聡)さんとの絡み。なんか2人とも本音言わないで、こう探り合って何か言い合ってるところが、『ああ、もどかしい』って思います。(見入ってしまっている?)そうですね。結構キヤーキヤー言いながら見るかも。1人で言ってますね。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「2人が言い合ってるのがおもしろくて、『なんで本音言わないの?』って言って、笑いながら見てる。結構1人でも、すごいバカ笑いで見てるんで。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「やっぱり、自分をさらけ出せる相手がいるっていうのはいいなっていう憧れでしょうね。(見終わると)切ない感じ。寝る前くらいまでは(残る)。どっかには残ってると思います。他のことをやったりしても。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「電車男」

「最初は、話の流れがよくわかってなかったんですけど、だんだん主人公の2人がくっついていくところ見たりすると、『ああ、すごいな』とか、共感できる部分があったりとか。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「主人公の男の子が秋葉原にいる時は、すごいオタク系なのに、好きな人の前になると全然違ったりとか、そのギャップがおもしろかったり。笑いもあり、なんかこう応援したくなるっていうか、『ガンバレ』っていう風に思ったりとか。見る人がすごい楽しい気分になったりとか。あと、もしそういう同じ境遇にある人を元気づけられたり、勇気づけられたりとかするのがいいかなって思いますね。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「(おもしろいところは)気持ち悪いところ。なんていうかキモイっていう感じのところ。今までにないキャラクターで。劇団ひとりとか、気持ち悪い人達が集まって、3人でしゃべってるところとか。あと、『キターッ!!』っていう絵文字、あれも印象に残ってますね。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >

「オタクの時の衣装と、スーツを着て普通に社会人をしている時のギャップが、おもしろいなって。かっこよくなってきてるなっていう。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >

「(見逃せないシーンは)ネットの住人とのやりとりの時かな。字がパーッと出てきて。(画面の)下の方に打ってる文字が出てくるんですけど、やりとりが、結構、たまに感動したりとかするし。電車男を励ましたりとか、それでジーンときたり。キモイだけじゃなく。(毎回ジーンとくるシーンは)ありますね、1回は。泣くほどではないんですけど、『いいなあ』ってジーンときますね。パソコンに打った文字が出てきて、絵文字とかもいっぱい、また新鮮な感じがしますね。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >

「なんか、小栗旬がすごい、パソコンで記号とか使って、大きな絵を『2ちゃんねる』の上で作って送信するんですけど、それがいつもすごく、そこはちょっと見逃せないかな、みたいな。(絵文字などがドラマの画面に出てくることは)結構おもしろいと思います。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「伊藤淳史とオタク仲間みたいな人達が出てるところもおもしろいし。(主役の2人が)デートしてるところとか。ニタツとして、『かわいいな』っていう。あまりドキドキっていうのはないですね。おもしろいって言う。笑えるおもしろさ。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「映画よりネットの住人が結構いろいろ出てきて、すごく出演回数も多いから、それはちょっとおもしろくて見るかも。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「(見ている時は)ニヤニヤしちゃうかも。オタクのノリとか。やっぱりチャットシーンは、長いけど笑っちゃうシーンもある。だから、うまくまとめられれば、なんかみんな、パソコンに向かって結構真剣になるので、おもしろいなって。(見終わると)これは、楽しい感じですね。これも寝るまでぐらいは(楽しい気持ち)が続くかな。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「毎回1つくらい、その名ゼリフじゃないんですけど、ある感じがしますね。たとえば、ネットで報告した時の主人公のセリフが良かったりとか、逆に、励ましたネット住人のセリフが良かったりとか。何かしら、『あ、いいな』と思えるセリフがあるんで。あらためて言葉になかなかないようなことを、ドラマとかで使われたりして。言われて、同じようにうれしいとか、その言葉で励まされるなって、そういう感じですね。『電車男』って泣けるドラマかどうかわかんないんですけど、時々、泣けてくるような感じもあるんで。なんか『ジーン』とした感じで終わる時も。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

3. 見続けられるドラマ

< 具体的な発言事例 >

ストーリーに一喜一憂する

「海猿」

「時任三郎が、すごいいいことを言うので、そういうところは好きですね。ジーンとするようなこととか。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「訓練していて、その間に仲間内の話みたいなの、なんかじゃれ合ってるおもしろくて、あんまり重いドラマって好きじゃないんで、やっぱりちょっとでも明るくなる要素とか入っていると、結構おもしろいかなって思って、次見ようかなって。なんかバカっぽくて(明るくなれる)。まあ笑えるところも入ってるかな。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「(仲村トオルが)撃たれちゃうシーンで、『これはないだろう』みたいな突っ込みをしながら、でも『ああ、死んじゃった』みたいな感じでちょっと涙しつつで、なんかぐちゃぐちゃしながら見てたんですけど。(1回見るたびに、盛り上がったり泣いたり波が)ありますね。ふっとこう返って『ああ、今のはないな』とか。でもなんか感動して泣いてみたり、笑ってみたり。いろいろありました。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「(『海猿』を)見てて、そういう戦っていないところは、なんかあったかい感じがします。仕事が休みで、船に乗っている人達、同僚とかが家族と一緒に過ごしてる場所とか、平和に過ごしてる場所とか見ると、なんか心が軽くなるっていうか、緊張からほぐれるっていうか。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「なんか、その主人公の人(伊藤英明)が、彼女(加藤あい)と別れるとかいうところがあって、でも彼女は『全部ひっくるめて好きだから』みたいなところとか見た時は、ちょっと感動しました。なんか、『ほわ』って感じ。『よかったね』みたいな感じで。たまに言ってますね。『それでいいじゃん』みたいな、『それでよかったよ』みたいな。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「この前の回で、(仲村トオルが)撃たれて死んじゃって、すごい主人公(伊藤英明)が叫んでるところとかは、『なんで死んじゃうの』みたいなこととか言いながら、ちょっと泣きましたね。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「毎回、設定がいろいろ違うんで、恋愛の部分でいいなと思うところもあるし、職場同士の仲間で心温まるみたいなのところもあるんで、毎回違うんですけど。でも、その仕事にける情熱というか、そういうのがよかったり、あと、難しい仕事柄っていうので、人間っぽくなくなっちゃうところがあっても、あらためて周りの支えてくれている人がいるとか、一人じゃないみたいを感じるシーンとかは、ちょっと感動っていうか。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「女王の教室」

「妹と2人で『あるある』言いながら(見ている)。共感できるとか。妹の方はたぶん小学生、生徒の方に気持ちが行ってて、私は先生の方に行ってるんですけど。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「イジメに近いくらいのことをするような先生なんで、私達からすれば、『ああいうことする先生はありえない』とか、『こんな先生いるの?』という風に思うんですけど。でも、現に今はこういう先生もいるのかなって思ったりとか。(見終わると)なんか『ああ、怖い』っていう感じ。怖いけど、ちょっとその中にも変なおもしろさみたいなのはありますね。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「(見ている最中は)生徒達に共感してる感じ。その週によってだけど、『ああ、今日は良かったな』とか、『なんでこんなことするのかな』って思ったり。」

< G 15歳未婚女性 高校生 >

「(先生が)生徒に対して、厳しいっていうか冷たいです。(印象に残るのは)主人公みたいな子(志田未来)がいじめに遭うシーン。ひどすぎるから。(先生が)ムカつく。あと、他の生徒がムカつく時もある。あとは、生徒が訴えるのに、何もしない校長先生とか教頭先生とかもムカつく。」

< G 15歳未婚女性 高校生 >

「クラス全体が先生を敵みたいな目で見て、どうすれば先生を懲らしめられるかとか、担任じゃなくならせられるかとか、みんなで計画を立てるシーンとか(がおもしろい)。」

< G 15歳未婚女性 高校生 >

「天海(祐希)さんが好きで最初見てただけど、ちょっとあまりにいじめがひどいから。最初はその天海さんがいじめてるっていうか、押し付けてっていうか、そんな感じだったけど、だんだん生徒の方がちょっと怖くなってきて。見てたくない。気分が悪くなる。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「割と生徒をいじめるシーンとかがあって、すごいかわいそうっていうのあるんですけど。『こんな先生いたら嫌だ』とかって思うんですけど、普通そんなに意地悪な先生がいたら『こんな先生大嫌い』とかって、きっと思っで見なかったりするんですけど、それはあんまり感じさせないっていうか。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

「一番最後、ドラマが終わった後に歌というか曲が流れるんですけど、そのシーンがすごい好きで、今まで怖い先生が、たぶん撮影風景が流れるんですね。そのシーンが結構好き、そのギャップが。ほんとこんなにこやかに、こんなに踊りも上手なんだよっていうところがすごく好きで、あそこは見たいなって思いますよね。なんかドラマではすごいんですよ。すごいんだけど、その素のシーン、なんかそのギャップが好き。必ずあのシーンは最後1回見たい、みたいな。なんかすごいひどい先生を見た後だから余計。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

3. 見続けられるドラマ

< 具体的な発言事例 >

ストーリーに一喜一憂する

「ドラゴン桜」

「勉強にもなるし、おもしろい部分もあるし、なんか『青春ドラマ』っていう感じがしますね。学園ドラマって、その時を一生懸命やったりとかするんで、『ああ、青春なのかな』って。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「受験法のあれ(ドラマ)なんですけど、こういうやり方もあるのかって、ちょっとおもしろく感じて。で、型破りな先生とかの役って、結構好きで見てたりするんで。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「やっぱあの、コメディっぽいところが(おもしろい)。主人公が生徒に向かって言う言葉が、『こういう先生がいたらおもしろかったらうな』みたいな、思う時もあるし、めっちゃうや言ってるようでも、なんか的は得てるのかな、みたいな。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「(笑ってしまうシーンは)先生と生徒の会話で、時々おもしろいところとかがある。」

< G 15歳未婚女性 高校生 >

「『ドラゴン桜』は、私は学生じゃないし、受験なんかしないんだけど、でも、自分が学生の時に、こういう先生がいたらおもしろかったらうな、とかいう風に見てる。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「勉強方法が、なんかおもしろくて、おもしろいけど、でもちゃんと身につけてるなっていうところ見てて、『なるほど』って思いながら。」

「(『ドラゴン桜』は)特におもしろいなと感じたことはないんですよ。(おもしろくないのは)なんかあんまり熱血じゃない感じが、熱血なんだけど、先生(阿部寛)が冷めてるところ。あとなんだろう、お金を破いてるシーンが嫌だったとかいろいろ。」

< I 20歳未婚女性 大学生 > < K 18歳未婚女性 高校生 >

「(見ながら口に出すのは)そういう勉強のやり方とか見て、『あ～あ』みたいな、うなづく感じ。(声を出して笑うシーンは)たまに。あんまりドジとかやっているとこがないんで。まあ、でももっと多かったら笑ってると思う。見るだけで、勉強する気にさせてくれる。私もちゃんとできそうだな、みたいな。そういう気持ちにさせてくれるところが(良い)。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「『ドラゴン桜』は、結構、現実離れたような話ですけど、勉強方法とか、『ああ、なるほど』みたいに思うこととかあったり。『自分も同じやり方で勉強したかったな』みたいな、ちょっと学生の時の懐かしい気持ちもありつつ、『こういう先生がいたらな』とか。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「女系家族」

「もし自分だったらああなれないし、『できれば巻き込まれたくないな』みたいな。けど、端から見ればおもしろい、みたいな。そのドロドロが。」

< A 25歳未婚女性 会社員 >

「遺産を巡って、最初3姉妹がいてそこに愛人の米倉(涼子)さんが絡むんですけど、この4人だけじゃないんですよ、絡んでるのが、周りの人達はその遺産を手に入れようと忍び寄る。なんかその4人よりも周りでなんか結構『え、この人達って』っていうのありますよね。(みんなが狙ってるところ)がすごい『バレないの?』とか思いますよね。その4人よりも周りの方がなんか『すごい』とか『怖い』と思いますね。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

「なんか理不尽な仕打ちを見てるのが、結構おもしろい。米倉涼子は普通に謙虚に言ってるのに、それを3姉妹の人達はすごい嫌な方へ嫌な方へ考えて、すごい酷いこととか言ってくるのを見ると、『それはないんじゃないの』っていう風に思って、でもなんかおもしろい。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「『女系家族』は結構ドロドロしてて、なんか威圧感みたいのがすごい感じます。米倉涼子にその3姉妹がいるんな文句とか、傷つけることとか言っていると、こっちまでなんか威圧感を感じて。こんなこと言わなくてもいいんじゃないのかな、とか。普通、絶対こんなこと考えてないよ、みたいな、ちょっとありえないんじゃない、みたいな、そういうのは思ったりします。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「がんばっていきまっしょい」

「今見ると、昔を思い出す感じ。(『がんばっていきまっしょい』は)自分ができなかったことをしてくれてるので、結構憧れるとつか。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「(印象に残っているのは)一番初めに出演者達が出たボートの大会のシーンです。途中で止まっちゃったけど最後まで槽ぐ、ピリでも最後まで槽いでゴールするっていう。これもベタなのかもしれないけど、やっぱり。部活動に頑張ってる姿がいいな、と。自分があれほど頑張れなかったの、うらやましいというか、そういう感じでしょうか。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「ボートを槽いでるシーンは見ますけど。単純に楽しそうだなって。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

3. 見続けられるドラマ

< 具体的な発言事例 >

ストーリーに一喜一憂する

「いま、会いにゆきます」

「人間関係がすごくあたたかいうていうか。ああいう家族だったらすごいいいだろうなっていうのを感じたので、やっぱり見て『ああ、いいな』って。自分もそういう家族が持てたらいいなっていう希望っていうか、そういうのが、すごい感じてくるので、そういう意味でも。(ドラマを)見る前も映画でもすごく親子愛っていうか、そういうのがすごい感動して。家族の関係がすごくいいなと思って見て、見始める時もそれがいいなと思って見始めて、見ててもすごいいいなって思って、結構常に感動するっていうかあったかくなる。」

< A 25歳未婚女性 会社員 >

「節々に結構感動するところがあるので、ちょっと泣いてしまうところもありますね。仕事がりストラされそうになったりとか、あと自転車に乗れないのを家族に黙って1人で練習すれば、ちょっとこれからの運命が変わるんじゃないかとか。結構自分でも何かこれをしたら先の運命変わるんじゃないかとか、そういう風に思う時もあるので、ちょっと共感できるっていうか、ちょっと分かるなっていう。それに対しての、その旦那さんの対応とか、子どもの優しいところとか、すごい滲み出でて、うまく表現されてるなって。根本的にすごくお互いを思い合ってるのが伝わってくるので、そういう意味ですごいあったかい。そういうのが見えた時にちょっと感動する。」

< A 25歳未婚女性 会社員 >

「離婚弁護士」

「なんか題名からすると、すごいお堅いドラマみたいに思えるんですけど。でも1回目見ていたら、すごいおもしろくて。主人公(天海祐希)が、やっぱり、はっきりくっきりした性格で。訴訟っていうか、ドラマでやってく形なんですけど。やっぱ予想通りじゃない、こういう解決策なんだって、すごい感心する終わり方が結構多くて。早々できないことだと思うし、終わり方で(感心する)。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「結構、仲間内の話とかもおもしろいし、依頼人との関わり方っていうのも、なんかすごい人間的に尊敬できるっていう接し方して。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「(主人公(天海祐希)は)すごい仕事できて、でも恋愛とかには弱いっていうか。やっぱかっこいい。でもなんか弱いところとかあって、共感したり。人間味がある感じ。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「事務所内で、仲間同士でしゃべってるシーンで、結構突っ込みどころがある場面が多くて(盛り上がる)。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「天海(祐希)さんが、すごい仕事でかっこいいのに、恋になるとへろへろになっちゃう感じがおもしろくて。あと、その恋をしてるところ辺もおもしろかったし。ちょっとギャグ過ぎたけど。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「ギャグって言ったら変なんですけど、おもしろい事務所のメンバーとか、先生の人柄がいいっていうのとか、そういうところもおもしろいっていうか。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「救命病棟24時」

「何回も自殺を図って、それでも助かって(という患者)に対するお医者さんとか看護婦の対応とか、それが1話1話ずつ、何かしら問題が起きたりとか、ストーリーがあるので、その患者とお医者さんとかそういうスタッフの人の関係が、いつも一生懸命で。」

< A 25歳未婚女性 会社員 >

「医療のこととか実際にはちょっと違うこととかもいっぱいあると思うんですけど、普通の一般人、そんなに知識がない人が見ても、すごく患者のことを思っているなことをしてる(ことが分かる)のがすごいいいなって。これも結構感動しました。毎回ではなかったですけど、でもやっぱり節々では泣いちゃう時もありました。」

< A 25歳未婚女性 会社員 >

「なんか命が懸かっているっていうか。命がテーマっていうかそういう感じで挙げられてるかなって。緊張もするし、『命大切だな』ってなんか。人が死んじゃったりするところは結構泣けるし。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「手術のシーンとかも、それなりにテキパキ流れていって、ずっとその緊張が長かったら疲れちゃうと思うんですけど、その辺がキリがいい。ちょうどいいくらいで終わった後のまた展開になっていって、ちょうどいいというか。(1時間見ていてメリハリがあるという?)そうですね。(1つのドラマに複数の要素が入っている)のが、いいですね。結構『救命病棟24時』も、命の大切さみたいなあとに、患者と医師とか、患者の家族ととかで、ちょっと心温まるシーンがあったんで、ちょうどよかった感じがしますね。(1つのドラマの中でいろいろ)あった方が。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「ごくせん」

「なんかちょっと笑えたりする部分が多いドラマだったんで、見やすかったですね。ヤクザの人と子分の人たちと仲間(由紀恵)さんのやりとりとか。あとは、必死に自分の娘だとして隠そうとするシーンがポツポツ出てくるんですけど、そういうのとかが好きでした。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「(設定は)男子校だったんですけども、なんだろう、親近感は湧かなくても、おもしろそう、楽しそうだなっていうのがありました。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

3. 見続けられるドラマ

リアリティがあって共感しやすい

所詮、作り物であると思っているドラマであっても、現実味がないドラマは共感できない。実際に自分が体験したこと、あるいは、これから経験するであろうことが盛り込まれていれば興味をひきやすいが、リアリティがないものは冷めてしまう。「電車男」のように、友達との間でよくチャットしている若者にとっては、テレビ画面で見るチャットシーンは身近で、「そんなこともあるかもしれない」と実感しやすい。ドラマである以上、現実にはあり得ない場面もあるが、あまりにも現実とかけ離れているストーリーでは視聴者はついていけない。

< 発言まとめ >

「スローダンス」

リアリティがある 現実味があって、実際に体験しそう(共感しやすい、自分の感覚と合う
主人公のキャラクター(性格)が身近にいそうな設定で分かりやすい(はっきりしている)

「電車男」

ネットで友達とチャットをよくしているので、身近にありそうで実感しやすい
「実際にはないだろうな」というような大げさなシーン」がよい
ストーリーがありえない

「海猿」

シリアスなドラマ 海のシーンは非現実的

「女王の教室」

現実にはありえないところが面白い

「ドラゴン桜」

現実離れしているのが面白い
現実にはありえなさすぎ

「いま、会いにゆきます」

現実離れしている

「おとなの夏休み」

共感できるところがない
ありえないシーンがあって、理解できない

「がんばっていきまっしょい」

キャラクターが不自然

「救命病棟24時」

リアリティがあって緊迫感があった
地震がくるといわれているので興味深い

3. 見続けられるドラマ

<具体的な発言事例>

リアリティがあって共感しやすい

「スローダンス」

「実際見たら、結構笑えたり。リアルだけど、ちゃんとしっかりしててっていうのは、キャラクターがみんなバラバラでみたいなのがあって、いいかなって。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「現実味、実際に体験しそうでなっていう。結構ほんとと忠実にリアルに、なんかテーマがあって。で、他のキャラクター、役の人達が、みんなそれぞれ何かしら個性、『こういう役なんだ』みたいなののははっきりしてて(おもしろい)。周りの出演してる人達も、『あ、なんか絶対に周りに1人はいそうな感じのタイプだな』っていうのが。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「『体験しそうかも』みたいな、そういう雰囲気、気持ちにさせられます。(ドラマの)設定と、そのそれぞれの考え方が、なんか実際にそういう人たちがいる、いそうな感じがしたりしてて。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「(気持ちに)協調しやすい。(自分と感覚が一緒という感じ)ですね。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「なんかほんと、周りにある世界、『海猿』とは全然違って、普通に自分も入り込めるって感じで。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「『スローダンス』もたまに突っ込み入れて、『これはないよ』って言うんですけど。だからやっぱり、深津(絵里)さんに共感できるっていうか。なんとなく自分に似てるようなところが多いから、そういうので見てるのかもしれない。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「『スローダンス』は、自分が結婚しちゃったっていうのもあるんですけど、共感できる部分が少ないんで。こういう恋愛の仕方もあるなっていう感じの見方になっちゃってますね。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「(『スローダンス』で印象に残るシーンは)ないですね。なんか『俳優さんかっこいい』とかそういうので。全然違う世界と言ったら変なんですけど、自分の身近なことに感じないので、あんまり共感とかそういうのがない。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「電車男」

「自分もネットで友達とチャットしたりするので、やっぱり身近な人でもこういうのでつながったりするのかなって思ったり。自分も『ネットの住人』の中に入ってるんじゃないかなっていう風に思ったりはしますね。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「あんまり現実と離れてないような内容じゃないですか、やっぱり現実でありそうな話なんで。自分でもわかりやすいっていうか、実感しやすいっていうか、すごいおもしろいです。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「純愛でもないし、だからといってベタリでもないし。なんだろう、自分達の中でも普通にありそうな恋愛っていうのを感じるなっていうのがあります。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「なんかすごい大げさなところとか。あと、すごいパソコンの『2ちゃんねる』がうまく使われてる、そういうところ(がおもしろい)。内容とかも『まあ実際にはないだろうな』っていうところとかが(おもしろい)。あと、演技も割と大げさなんじゃないかな。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「やっぱりオタク男に都合のいい展開で進んでいく恋愛模様で。なんか(ストーリーが)『ありえない』とか思って。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「(おもしろいのは)やっぱり、ノンフィクションのところ。(ドラマは)フィクションですけど、元はノンフィクションじゃないですか。あと、オタクと美少女って組み合わせが、今までなかったなっていう。ドラマだから夢を与えてくれるけど、それも、夢だけじゃなくて現実にもありえるんだなって、ちょっと思えるところ。やっぱ、ドラマって憧れだと思うんですよ。できれば現実に起こって欲しいって人もいると思う。(自分も)そうですね。オタクを強調し過ぎだとか。あそこまでじゃないんじゃないかな。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「『電車男』は『2ちゃんねる』の用語とか、ネットの住人と、みたいなのところもあるんで。自分もインターネットを実際にやっているから、その知らない人同士のつながりとかで、共感できる部分とかがあるので。なんか気持ち共感できるっていうか、『ああ、わかる、わかる』っていうのがあるんですけど。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「海猿」

「(『海猿』は)ちょっとシリアスなドラマっていうのと、あと全然自分が知らない仕事に従事してる人達のこととか描いてあって、新鮮な感じがしました。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「命を懸けた、ドキュメンタリーみたいなのも入った、男の友情とか。ヒヤヒヤする、危険な展開もあり、みたいな(ドラマ)。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >

「なんかテレビでやるにはちょっと壮大過ぎるんじゃないかな、みたいな。ストーリーはわかるんですけど。海のシーンとか、普通の生活してるドラマじゃなくて、(海上保安庁の)日常っていうか、任務みたいな、非現実的なドラマで。ここまで知らなくていいかなみたいに、ちょっと。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「その撃たれちゃうシーンで、『なんでそんなずっと立ち上がってるの？立ち上がってるから撃たれちゃうんだよ』とか思って。で、なんかその演出の仕方っていうんですか。なんか『えー？』と思って。そこだけはちょっと気になって。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

3. 見続けられるドラマ

< 具体的な発言事例 >

リアリティがあって共感しやすい

「女王の教室」

「実際の学校でも、ドラマの中でも、なかなか見ない種類の先生だから、おもしろい。(実際には)いなさそう。(いたら)おもしろそう。」

< G 15歳未婚女性 高校生 >

「先生がこう、どんどん忍び寄ってくる時に子ども達がピクッとするとことかが、『なんかほんとに怖いんだろうなあ』と思うんですけど、実際の学校じゃあんまりありえないことなので、なんかあれもちょっといいんでしょうね。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

「あんな先生ありえないから、そこがおもしろいのもかもしれないですよ。」

< K 32歳既婚女性 専業主婦 >

「なんか『女王の教室』はほんとにもう、感情移入して見ないですかね。感情移入すると、なんかこう『子ども達かわいそう』とか『転校しなきゃいいのに』とかってなっちゃうんだけれども、絶対こんなのありえないから、そこがまたおもしろいのかって。」

< L 32歳既婚女性 専業主婦 >

「ドラゴン桜」

「他の先生達のキャラクターが濃いので、すごいわかりやすい人達が多いので、憎めないですかね。普通に、『絶対いないだろうな』っていう。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「『ドラゴン桜』はテンポがいいのとかあるんで、ちょっと現実離れしててもあまり気にならないです。(少し現実離れしていた方が)このドラマはおもしろい。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「リアルな部分もありつつ、ちょっと違うんじゃないかっていう部分も、半々ぐらいですかね。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「(好きなところは)なんか、これがつて言われると特にないんですけど、でも、教師じゃないのに、弁護士なのに、なんか元暴走族で、とかいう設定も、あれって実際の話ではないんですよ。わかんないけど、ありえなくておもしろいかって。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「なんだろう、東大に入ってるというのがなんか、あれはちょっと突拍子もなさ過ぎて(たまにしか見ない)。やっぱり、現実にはありえなさ過ぎるとダメなのかも。元々、コミックのをドラマにすると、見たいのと見たくないのと、すごい分かれるんですよ。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「いま、会いにゆきます」

「本当に、実際問題、ちょっと(ドラマのような家族がいると考えるのは)厳しいかっていうこともあるんですけど。」

< A 25歳未婚女性 会社員 >

「(『いま、会いにゆきます』)もなんか、やっぱり現実ではないなところがある。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「おとなの夏休み」

「ちょっと年齢的に上なのかなと思って。結構30代とかそれくらいの人が見る方が楽しいのになって。あんまり共感できる感じじゃないんで。だからあんまり、そこまで『見たい』っていう風に思わないんだと思うんですけど。」

< A 25歳未婚女性 会社員 >

「演技とかがちょっとわざとらしいっていうか、大きいっていうか、それがちょっと気になるので。あと、ストーリー的にも、ちょっと共感できるもの、自分と共感できるもので、すごく夏を主にしてるものだったら見たかもしれないんですけど、海の家を開いたからって特に(共感できない)。旦那さんとの関係も全然、共感できるっていうか、結婚してないせいもあるんだと思うんですけど、あんまり気持ちとかがわからなくて、あんまり節々に共感できる場所がないですよ、ドラマの(中に)。」

< A 25歳未婚女性 会社員 >

「主婦と会社員とあとフリーターみたいなのが、3人が集まって海の家を開くみたいなそういう設定なんですけど、全部が全部自分とは似つかない人っていうか、全然違う立場の人なので、もっと自分と同じような、普通に働いててとかそういう風な(ドラマだと思って)いた。」

< A 25歳未婚女性 会社員 >

「この前のあるシーンが『ありえない』と思って。ちょっと違うのかな。なんか『3人同時にそれはやらないだろ』みたいな。内容もちょっと理解できない。テンポは別にいいと思うんですけど、中島(知子)さんが役者っぽくないのもあるかな。寺島しのぶでしたっけ？ 主役。あの人もあんまり知らないんで。でも、彼女は女優だと思うけど、あんまり共感とかそういうのはしてない。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「がんばっていきまっしょい」

「どっか田舎の設定で、なまってるんですけど、それがすごい不自然だったのもあって(見なくなった)。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「それぞれの役の性格が、今時ない、ちょっと素直すぎるかな。あと田舎だからかもしれないんですけど、なんかあんまりひねくれてなくて。そういうのも好きな人がいるかもしれないんですけど、私はあんまり好きじゃないかな。全員がそんな感じなんで、それがダメです。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

3. 見続けられるドラマ

<具体的な発言事例>

リアリティがあって共感しやすい

「救命病棟24時」

「現実問題、今すごい『地震が来る』とかいう話があって、それを主に、実際と同じような感じで起こった時のことをドラマにしてたりとかするので、そういう意味ですごく、おもしろいっていうか、見たいなと思って。リアルな感じですね。」

< A 25歳未婚女性 会社員 >

「普通に芝居が上手いなと思って。何かだんだん、たぶん医療(を扱ったドラマ)なのが、普通の芝居よりセリフも難しいし、あと手先とか、手術とかしないといけないので、そういった撮影とかは難しいと思うんですけど、それがわざわざらしくなくてすごく自然で、芝居自体が上手いなと思って。」

< A 25歳未婚女性 会社員 >

「これも結局、医療ドラマで、特に一番最近の地震に関してやってたのは、ドラマのお話なんだけど、実際にあるかもしれないっていう緊張感もあって気になってたっていうのもありましたね。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

3.見続けられるドラマ

ストーリーが分かりやすい

高視聴率のドラマは、ストーリーがわかりやすいという特徴がある。キャラクターの設定もはっきりとしていて視聴者にとって理解しやすい。最近では、すべての連続ドラマで「人間関係の相関図」がホームページに紹介されているため、配役もわかりやすい。

<発言まとめ>

「スローダンス」

ストーリーがわかりやすい

「電車男」

ストーリーがわかりやすい

「海猿」

ストーリーがわかりやすい

「女王の教室」

ストーリーがわかりやすい

「ドラゴン桜」

キャラクターがわかりやすい

「がんばっていきまっしょい」

内容がわかりにくい

3. 見続けられるドラマ

<具体的な発言事例>

リアリティがあって共感しやすい

「スローダンス」

「(ストーリーは)わかりやすいと思います。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「(ここが好き、という)1つ突出したものがあってわけじゃないんだけど、ほんとに見やすいっていうか。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「主人公の性格が、はっきりしててわかりやすい。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「電車男」

「(ストーリー)はわかりやすいですね。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「海猿」

「(陸にいる人と海に出てる人の)両方の気持ちが、ちゃんとはっきりわかるんで、見ても混乱しないし。(ストーリーがわかりやすい?)はい。切り替わる時は、本当に、結構わかりやすく変わってるんで、『何があったの?』みたいな感じにはならない。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「女王の教室」

「(見逃してもストーリーに)ついていけますね。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「(ストーリーは)わかりやすいと思います。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「ドラゴン桜」

「意外と単純な人たちがいっぱい出て、キャラクターとして出てるんで、そんなに複雑なもの(ドラマ)でもなくて、見やすいなと思ってます。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「他の先生達のキャラクターが濃いので。すごいわかりやすい人達が多いので、憎めないですかね。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「がんばっていきまっしょい」

「『がんばっていきまっしょい』も、最初3話くらいまでは見てたんですけど、話の流れがイマイチ読めなくて、『これは何をしたいのか?』とか全然わからないんで、今は見てないんですけど。内容がわかりにくいのかは、どうなのかなって思いますけど。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「最初『青春ドラマ』だと思ってたんですけど、途中で友達との恋愛に関する話とか出てきて、『これは何のドラマなのか?』とか、全然わかんなくなっちゃって、『なんなんでしょうかね?』っていう。ボートのことが一旦落ち着いてから、そういう恋愛になるんだって話だと別にそれもおかしくないと思うんですけど、ボートについてがんばってる途中でそういうゴタゴタが入ってきてってなると、そこでわけわかんなくなっちゃうっていうか。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

3. 見続けられるドラマ

テンポがよい、場面展開が早い

「出演者が好き」、「泣き笑いでできる(共感できる)」、「リアリティがある」、「ストーリーが分かりやすい」などは、これまでの高視聴率を獲得したドラマのヒットの要素として、よく挙げられている。最近では、そうしたドラマであっても、最後まで見られずに飽きてしまうドラマも多い。視聴中に携帯電話が鳴ったり、携帯メールがきたり、ドラマに集中できない障害が数多く存在し、また、ドラマ以外に興味をそそるものも多くなってきている。

「電車男」、「ごくせん」、「救命病棟24時」など、飽きずに集中して視聴された番組は、テンポがよく、場面展開が早い。「電車男」では、画面の切り替えが早いため、一瞬のシーンも見逃さないように見ているという。

どんなにストーリーに感動するドラマであっても、2時間ドラマは別だが、ゆったりとしたテンポのドラマは、じれったく感じる。特に、ゲームなどで画面切り替えのスピードに慣れている若者層にとっては、ゆったりとしたドラマはつまらない。また、映画をドラマ化したものは、引き延ばして作っていると感じている視聴者が多い。

<発言まとめ>

「スローダンス」

テンポがよくて見やすい

こまめに山あり谷ありで、テンポがよいと飽きる暇がない

テンポはややゆっくりだと感じる(話のテンポが遅い)

じれったい感があって、見ているほうがルーズになってしまう(1時間、ちゃんと見ていなかった)

「電車男」

テンポが早いところがちょうどよい

画面展開が早いので、一瞬のシーンを見逃さないように見ている(表情とか見逃したくない)

初回は「チャットしているシーン」がちょっと長ったらしく感じた

「海猿」

話の進み具合、テンポはちょうどよい

場面展開はちょうどよい

主演の伊藤英明と加藤あいの掛け合いは長すぎる

原作の映画からすると引き延ばして作っている感じ

「ドラゴン桜」

テンポが早くてよいので、現実離れしていても気にならない

場面展開が早いときと遅いときがあるが、早いほうが好き

一話の流れがスロー もっとテンポが早いほうがよい

「がんばっていきまっしょい」

テンポはまあまあだが、じれったい場面があって飽きてしまう

画面の切り替えがそれほど早くない、ゆっくり過ぎる

「いま、会いにゆきます」

テンポがゆっくり過ぎる。刺激が少ない

山場がなく、ゆっくり穏やかに進んでいく感じ

原作の映画を引き延ばした感じ

1回、1回が長いし、飽きる

「離婚弁護士」

全体的にテンポが早く、サラッと見やすい。画面の切り替えも早い

「救命病棟24時」

全体的にテンポが早く、見やすい。画面の切り替えも早い

「琉璃の島」

ゆったりしているドラマ

予告を見ていても緊張する場面がなければ1週間待てる。すぐに見たいという感じではない

3. 見続けられるドラマ

<具体的な発言事例>

テンポがよい、場面展開が早い

「スローダンス」

「割とテンポがゆっくりなところ(が好き)。ゆっくりだからいいとか、早いからいいとかっていうんじゃないで、そのドラマの話の内容に合ってるかどうかで、好きかどうか決まりますね。なんか、せかせかした感じがない。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「やっぱ、なんかテンポが良くて見やすい。全体的に。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「『スローダンス』は、やっぱいい波に乗ってるっていうか。こまめに山あり谷ありとかして、全体的にテンポがいいかな、と。飽きる暇がないから次回も見ようって思うんですけど。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「(話の展開でじれったい感じ)はこれがちょうどいいと思います。「ああ、まだくっつかないでいる」みたいな。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「(テンポは)ちょうどいいと思います。結構満足してるので大丈夫です。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「(画面展開は)ちょうどいいと思います。(遅過ぎることも早過ぎることも)ないですね。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「話のテンポが、まあ1回しか見なかったのでアレなんですけど、すごい遅く感じましたね。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

「『スローダンス』は、ハッキリしないって感じのところがちよっとあって、恋愛なんで時間がかかるのはわかるんですけど、見る方もルーズになっちゃう感じがあって。それよりは、テンポのいい方が見やすいし、あつという間というか、時間が経つのが早く感じるの。(『ドラゴン桜』)と同じ長さで比べれば、ちょっと長く感じるかもしれないですね。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「たとえば、広末涼子が告白しちゃうって決心してから、告白しに行くまでに、他の友人のところへ会いに行く場面が何度か入ってたりとか。行きづらいのかなっていう印象はあるんですけど、なんか引っ張り過ぎてる感じはありましたね。一番、最近で言うと、自分なら基本的に、どっちが好きかって言ったら、テンポのいいドラマの方が、見た後にスッキリするというか。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「結局、次の1話でこれだけ進むだろうと自分で予想してたよりは進まなかったなっていう印象があったりします。長いというか、じれったい感じの方がありますね。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「メリハリというのが、『スローダンス』の場合は(ない)。全体をゆっくり、いろんなタイプの、みんなそれぞれ考えがあって、それぞれの仕方があって、みたいなのを、いろいろな場面を撮って見ていくっていう感じなので。流れもゆったりでっていう感じですかね。ちょっと飽きちゃうって言ったらあれなんですけど。(テンポよく進んでいく)方が見やすいですね。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「電車男」

「(話の進んでいくテンポは)ちょうどいいと思います。でも、話の内容によって、回によって、やっぱり今回もうちょっと早く進んだ方がよかったんじゃないかなとか、ちょっと早く展開し過ぎじゃないかっていうのはあります。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「特に何かがすごいおもしろいっていうわけではないんですけど、話のテンポとか。(テンポは早い?)そうです。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「これは、ちょっと画面展開が早いので、携帯は見ないように。登場人物がチャットシーンが多いので、それがすごい、1人当たり一瞬のシーンとか、ちょっと見逃しちゃうとアレかな、と。できれば見逃したくないので、1つ1つの表情とか。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「やっぱ映画版が元だからか、ちょっとなんか長たらしく感じる時はありますね。チャットしてるシーンとか。その登場人物がちよっと多すぎて、收拾つかなくなってるな、とか。(見る気がなくなる)ことはないですね。ちょっとじれったい、じれったいじゃないか、イライラする感じはありますけど。「あ、まだか」みたいな。テンポがいいかは、ちょっと人数が多過ぎるので、やっぱり。テンポ早過ぎかなって。登場人物が多いからそうなるっちゃってるので、全体自体はゆっくりっていうか、逆に遅いような気がするんですよ。映画版はサッパリ進んだのに。(ドラマは)ちょっとしつこめ。映画版ぐらいがちょうど(良かった)。1人当たりのエピソードが薄くなっちゃうかなって。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「印象に残ってるのは、1話(初回)がすごい長かったかな。その後は特に気にならないんですけど。1話までが、なんかすごく長かった覚えがある。最初は映画版がすごい好きだったから、1話見た時はちょっと残念だと思いました。1話は映画版と結構同じような感じだったので。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「『電車男』はセリフを全部ちゃんと聞いておきたい、みたいなところがあって。主人公とかの印象に残るセリフが、いつどこで言われるかわからないというか。印象的な場面がいつ起こるかわからないっていうのはあるんですけど。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「『電車男』も毎回、何かしらちょっとはハブニングというか、予想外の出来事みたいなのが起こるので、それに対して周りなどがうい反応をするとか。たぶん、そういうことが起きると、音が入るんですよ。挿入歌ってほどじゃなく、効果音なんですけど。そういうので、テンポが上がるというか。(場面展開に合わせて)盛り上がる、慌ただしくなる感じの音が入るんで、こっちもそれに合わせて、「あ、どうなるんだろう」みたいなのはありますね。(音が慌ただしくなると)テンポもだんだんよくなって。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「しっとり見るようなところは、しっとり見つつ、テンポがよくて、ギャグっぽいことがあったりとか、そういうのはテンポよくバーッと見ていけるっていう感じなので。そういうメリハリがあるので、飽きずに見れるっていうのが。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

3. 見続けられるドラマ

< 具体的な発言事例 >

テンポがよい、場面展開が早い

「海猿」

「(話の展開の仕方や画面が切り替わる早さに違和感)特にないです。ちょうどいいと思います。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「映画は結構おもしろかったんですけど、それをドラマにっていうのがちょっと引っかかって。やっぱりこう、延ばし延ばしにされるのになって。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「先週の気になったところは、やっぱりちょっと引っ張り過ぎてっていうのはあったかな。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「(話の進む展開の仕方やテンポは)ちょうどいいと思います。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「(『海猿』を見ていて、テンポが遅いなどは)そこまでは感じないですね。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「ドラゴン桜」

「(話の進み方やテンポは)早過ぎず、ちょうどいい感じ。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「『ドラゴン桜』はテンポがいいのとかあるんで、ちょっと現実離れしててもあまり気にならないです。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「あんまり話の展開が進まないんですよ。毎回ひたすら勉強みたいな感じで。毎回新しく講師の人が来るって行って。で、今は、東大模試を受けて、その結果が次どうなるかっていうような感じなんで。あんまりストーリー展開がないところがイマイチかなって思ったんですけど、やっぱり、みんなキャラクターが濃いんで、そこがおもしろいかなとは思いますが。(展開がイマイチなのは)1話1話の流れが遅いかなって。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「1話全体の話の流れが遅いかなと思うだけで、別に会話(のやりとりのテンポ)とかはそんなことはないと思います。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「(テンポはマンガと比べて)まあ遅いとは感じるんですけど、これより早くなったら、それはそれでつまらないんじゃないかなと思いますね。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「やっぱり登場人物が、生徒の数が多いので、『ちょっと余計なことまでやってるんじゃない?』っていうのはありますよね。2人なら2人に絞ってしまっただけの方が良かったんじゃないかしらって思いますよね。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

「なんかドラマの場合だと5人とか何人かの生徒さんが入ってくるんですけども、それまでのエピソードが『長いんじゃないの?』っていう。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

「(テンポは)今は、ちょっと遅くなって思って。このままで、ちゃんと最終回までに東大受験するっていうところまで追いつくのかなって。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「テンポがいいっていうのはありますね、『ドラゴン桜』の方は。テンポのいい方が見やすいし、あっという間というか、時間が経つのが早く感じるの。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「がんばっていきまっしょい」

「(画面展開は)ゆっくりですね。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「(『がんばっていきまっしょい』は)まあ、テンポがいいか悪いかで言ったら、いい方だとは思うんですけど。結構、じれったい部分とかもあった印象があるんで。あと、そのセリフが標準語じゃなくて、どっかの地方の話し方とかいうのもあって、あんまりっていう感じもあるんですけど。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「(『がんばっていきまっしょい』は画面の切替が)あんまりなかった印象が。早送りっていうか、画面がパーッと飛ばすような感じで、サラッと見れるところがなかったと思うんですけど。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

3. 見続けられるドラマ

< 具体的な発言事例 >

テンポがよい、場面展開が早い

『いま、会いにゆきます』

「映画とまったく話が一緒なんで、もう内容がわかりきっちゃってるから、1話の流れがすごい遅く感じちゃって。それもあって今は見てないんですけど。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「話の流れとか、テンポとか、ゆっくりめな感じなんで、あまり刺激が少ないというか。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >

「全体の雰囲気がちっと暗いっていうか、スローだったから(期待していたのと違った)。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >

「(話が進んでいくスピードは)割とゆっくりだなと思うんですけど。でも、だからといって早くすると、それは話の内容からしたらおかしくなるんじゃないかな、とは思います。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「比較的ゆっくりしてるように思います。全体になんかゆっくりとしたドラマだと思ってるんで。それはそれで。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「『いま、会いにゆきます』とかは、ゆっくりゆっくり。そんなに大きな山はないけど、まあ穏やかに進んでいくかな、みたいな。おもしろいって思うのは、やっぱこまめに山あり谷ありとかしてた方がいいけど。でも、たまにはこういうゆっくりしたドラマもいいかなって思って、見る部分も。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「なんかやっぱ、『いま、会いにゆきます』は、映画でちょっと時間が足りないかなって思ったんだけど、ドラマにしたら長すぎるなと思って。その話引っ張るために、いろんな余計な話が入ってて、嫌なんですけど。結構、映画と全然話違うし。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「1回1回も長いし、ここまで来るのも長い。ちっと飽きてるものもあるのかな。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「ああいうのは、なんかドラマみたいに長々見るんじゃなくて、1回の映画でバンッと見たい感じ。(ドラマだと長い?)たぶん、そう思うと思います。たまに見るとそう思う。まとめて見たいです。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

『離婚弁護士』

「(1時間が)あっという間でしたね。テンポ比較的好かったと思います。音楽、効果音っていうか音楽もあって、テンポがよくなる場面とかもあるんで。音楽とともに、早回しじゃないんですけど、画面の切替が早かったり、展開がちっと早めになったりするんで。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「(画面の切替が早くなると)飽きないというのもありますね。たとえば、『離婚弁護士』だと捜査みたいなので、セリフがなくても聞きまわってる場面がパーッと流れるとか。なんかやっぱそういうのがあると、話的に流れが、またその聞き終わった後の話とかに続くんで、ゆっくり(聞き)まわってる場面をずっと流すよりは、飽きないっていう感じですかね。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

『救命病棟24時』

「全体的にやっぱテンポが早かったので見やすいっていうのもあったし。これも結局、医療ドラマで、特に一番最近の地震に関してやってたのは、ドラマのお話なんだけど、実際にあるかもしれないっていう緊張感もあって気になってたっていうのもありましたね。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「手術のシーンとかも、それなりにテキパキ流れていくんで、ずっとその緊張が長かったら疲れちゃうと思うんですけど、その辺がキリがいい。ちょうどいいくらいで終わった後のまた展開になっていくんで、ちょうどいいというか。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

『瑠璃の島』

「(ゆったりしたドラマが見たいですか?)はい。(今やっているドラマだと)そういうのがないかな、思いつかない。(最近やった中だと)『瑠璃の島』はそういう(心温まる)家族とか、人とのふれあいみたいな感じだったんで。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「予告とか見てても、すごい緊張するような事件とかが起こらなければ、普通にその時のエピソードとかだったら、全然1週間待てるみたいなの。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

3. 見続けられるドラマ

展開が読めない、変化がある

「最後にどうなるだろう」、「次週はどう展開するのか」という予想をしながら見るのがドラマの醍醐味のひとつである。毎週、「続けて見たい」という気持ちを抱いてもらえなければ、最後まで視聴してもらえない。従来は、「いいところで次週に」という展開で、翌週へ視聴者の興味を引っ張っていたが、最近の高視聴率ドラマでは、毎回の番組中で、「一転二転する」、「展開が読めない」、「予想外のことが起きる」など、飽きさせない仕掛けがなされている。淡々とした流れではなく、1時間の中に「あっ」と驚く場面が数箇所、一定の間隔で仕込まれていなければ、視聴者は別のことを始めてしまう。山あり谷あり、常に変化させていくことで興味を惹き続けることが重要であり、間延びした休息時間は作ってはならない。

< 発言まとめ >

「スローダンス」

「主人公の二人はくっつくのかな?」、「どうやってくっつくのか?」と思いながら、恋愛する主人公二人の展開に一喜一憂し、最終回を予想しながら見ている

「電車男」

毎回、予想外の出来事が発生するシーンでは、効果音が入ってテンポが上がり、慌しくなる感じがある。こうしたシーンがあると飽きないし、1時間が長く感じない

単調ではない

見ている途中で、常に「何か展開が起きそう」、「次どうなるのか」気になる

映画で見た人からすると、予想がつきすぎるドラマは見たくない

「海猿」

自分が体験できない仕事に興味がある

映画と違った新たな展開が見られる

毎回、こんな感じというのが分かりやすい

予告でどうなるかが予測できてしまう、意外性があまりない

「女王の教室」

展開に変化がある(波がある)

最終回まで見ないと、先生の「ナゾ」がわからないので、見続けたい

「先生が本当はいい人なのか」、「本当の正体は?」、「子供たちがどう卒業していくか」などが気になる

「ドラゴン桜」

本当に東大に合格するのか予想するのが楽しい、そのプロセスが最後まで目が離せない

見ていて飽きてしまう感じはない

1話に1つぐらいの山場がある(子供が日常生活に活かせる部分がある)

(原作漫画をみた人は)ストーリーを知っているので先が気にならない

途中で飽きてしまうときもある

一生懸命見ている感じではない

「女系家族」

いつか何かでてくるだろうと期待させるものがある

「いま、会いにゆきます」

展開がどうなるか気になるドラマ

映画化されているが、映画のストーリーとはちょっと違った部分があるため、興味をひく

見入ってしまうシーンがない

3. 見続けられるドラマ

< 発言まとめ >

「がんばっていきまっしょい」

今までにありがちなドラマ

先が見えてしまう

次週以降「どうなるだろう」と気にならない

見入ってしまう、集中してみているというより、何かしながら見ている

「救命病棟24時」

だらだら続いているより、変化があつてよい

「離婚弁護士」

予想通りでない解決策が出て、あっと驚かされる(サプライズ)

解決のプロセスは予想できないので最後まで興味が続く

終わり方が納得できる

「anego」

毎回、いろんな問題が起きて面白い

見ていて、展開がどうなるか気になる

考えていること(口に出さない気持ち)が字幕で出てくるところが新鮮

「琉璃の島」

突発的に起きる事件があるのがよい(予想がつかない展開のほうが好き)

3. 見続けられるドラマ

< 具体的な発言事例 >

展開が読めない、変化がある

「スローダンス」

「自分の中で、大体見てるとオチっていうか、次がなんとなくわかるかなって思ってたんですけど、それがあんまりなくて、想像できなくてっていうのがあって。最後まで見ちゃう。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「なんかもどかしい気持ちでいっぱいなんですけど、でも、それが逆にいいかな。次が気になったりします。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「最後までくっつくんだろうなっていうのが、なんとなくわかるっていうか、自分の中で予想しちゃってるんで。途中のやりとりが見たいていうか。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >

「深津絵里と妻夫木聡はくっつくのかな、みたいな(ことが見続けているポイント)。あんまり(最終回は読めない)。たぶんくっつくんだろうなとは思ってますけど。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「(見終わった時は)また次回も見ようって思いますね。大抵は(『まあ見ようかな』ではなく)『見たい』。やっぱり、ちょっと山あり谷ありみたいなストーリーが。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「(山だと思うのは)やっぱ、あの主人公同士がくっつくか、くっつかないかって。くっつくのはわかってるんだけど、どうやってくっつくかな、みたいな。(最終回は)大抵予想して見てますね。それが、いい具合に裏切られるか、そのままいい具合に進んでいくかっていう。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「藤木(直人)さんが、結構何を考えてるのかわからないから、『ほんとは誰が好きなの?』と思って、そこはすごい見ている感じ。なんとなく、ドラマの話上は広末(涼子)っぽい感じがするんだけど、なんか『深津(絵里)さんなのかな?』とか。私が勘違いしてるだけなのかもしれないけど、なんかそういうのが気になって。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「(来週が)楽しみです。展開が読めないところとか。結構期待は裏切って欲しいかも。あんまりベタな内容じゃないというか、予想不可能な感じ。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「『スローダンス』とかだと、やっぱちょっと見なくてもいいやっていうと変ですけど、話の全部を見なくても、ところどころなんとなく話がわかる程度見ればいまいかなっていうぐらい。『スローダンス』とかみたいに、大体こう、いろいろなセリフはあると思うんですけど、結局、展開が見えるというか。流れがわかればいまいかなっていう程度ですかね。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「電車男」

「毎回なんか違った展開があって。あと、番組が終わる最後の方に、次の予告とかあるじゃないですか、予告もすごい楽しみになるような予告になっていて、『次も見なくちゃ』っていう感じになります。この先がすごい知りたいのに、ちょうどいいところで終わっちゃったりとかすると(『次も見なくちゃ』って思う)。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「その回がただつまなくても、予告で『次こういう展開がありそう』みたいな感じでやってくると、『あ、じゃあ、やっぱり見なくちゃ』っていう風に、『気になるな』っていう感じになります。ただなんとなく話が淡々と進むんじゃなく、なんか一山あるっていう。そういう感じがあると、『おお』って思いますね。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「(ドラマに集中するシーンは)なんか『ここぞ』という時っていうか。今までとはちょっと違う展開が起こりそうな時とか。次、もう1個展開が何か起こりそうだなって思う時は。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「私、本とかネットとかでは見てないんですよ、『電車男』。なので、続きが、全然知らないので(見終わった時)続きが見たいって思いますね。(1時間の中で盛り上がるシーンは)割とあったりなかったりって感じだと思いますけど。(淡々と)はしてないですね。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「あんまり予想がつきすぎるっていうか、そういうドラマは最近あんまり見ないです。(予想がつくドラマは)やっぱ『電車男』。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「気になってくる展開っていうのもありますね。あと、話題にできるから。(映画や原作と)比べて批評してる自分が好き、みたいな。『これは違う』とか。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「(おもしろいのは)オタクと美少女って組み合わせが、今までなかったなっていう。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「ついこの間の、『嘘が許せない』って言って、自分がオタクだっていうことをカミングアウトするところ。映画版では自分が『オタクだ!』とまでは言ってなかった。『あ、違うんだな』って。また別物だと思うので、それはいいと思うんですけど。やっぱ一度見たものなので、元は同じでも、違う方がやっぱりおもしろいかな。2回目、3回目ぐらいから、映画版と展開がちょっと変わってきたので。これは結構(先が)読めないですね。続けて見る理由ですか?先が見たいから。やっぱ、わからないからかな。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「『電車男』は結構(設定が)新しい感じじゃないですか。かっこいい人と美女、っていうんじゃなくて、デコボコな感じっていうのが。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

3. 見続けられるドラマ

< 具体的な発言事例 >

展開が読めない、変化がある

「電車男」

「『電車男』はセリフを全部ちゃんと聞いておきたい、みたいなのがあって。主人公とかの印象に残るセリフが、いつどこで言われるかわからないというか。印象的な場面がいつ起こるかわからないっていうのはあるんですけど。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「(『電車男』を見終わると)『次どうなるんだろう』っていうので、『また来週も見なくちゃ』っていうのが。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「毎回、何かしらちょっとはハプニングというか、予想外の出来事みたいなのが起こるので、それに対して周りがどういう反応をするかとか。たぶん、そういうことが起きると、音が入るんですね。(場面展開に合わせて)盛り上がる、慌ただしくなる感じの音が入るんで、こっちもそれに合わせて、『あ、どうなるんだろう』みたいなのはありますね。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「海猿」

「『海猿』は、映画とはまた違った話で、その先の話なんですよ。だからまた新たな展開があったりとかするんで、ちょっと成長してる部分とかもあっておもしろいなって。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「(最終回の予想は)わかんないですね。恋愛に関しては、なんとなく。(本編の方は)今までに1人死んでしまって、昨日も1人死んでしまって、だから、何か事件があるのかなって。そういうのは気になりますね。ケガしたりとか、死んでしまったりとか。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >

「男の友情が見たいのかな。熱い感じ。男同士のそういう知らない世界だから見たいとか。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >

「人間関係(もおもしろい)。(じーんとする場面)もそうだし、時任三郎とかは、もう奥さんと別れちゃって、でも子どもはすごい時任三郎のことが好きで、とか。だけどなんか、会えなくなっちゃいそうな展開なので、どうなるのかなとか。あとは佐藤隆太、女の子(白田あさ美)がくつつくのかなとか。やっぱこの(主役の)2人はくつつくのかなとか、どうなるんだろうって。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「1回見なくても、飛び飛びでも大体わかるかなって感じ。予想はあんまりつかないかも、『海猿』は、でもこんな感じでやってくんだろうなっていうぐらいは。毎回毎回こんな感じでやるんだろうな、だから1回ぐらいは飛ばしてもって。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「自分が普段体験できない仕事じゃないですか。特殊な仕事だから。そういうのを見るのがおもしろい。(見続けているのは)あんまり身近じゃない世界、っていうのがやっぱ一番強い。(新鮮な感じ)ですね。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「(見続けるのは)とりあえず、話の先が気になる。興味が湧いてる。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「なんか海上保安庁のこともわかったし、あと、そのドラマ中の恋愛模様とかも目が離せないし。いつも見るたびに、終わったら早く続きが気になるから来週見たいな、みたいなの。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「この前は、すごい重要な人(仲村トオル)が死んじゃって。その後、主人公の人(伊藤英明)がどういう風にこれから過ごしていくのか、とか気になって、目が離せないな、みたいなの。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「(『海猿』は)予告で大体、展開が見えてしまったりとか。たとえばこの間、仲村トオルさんが演ってる役柄が死ぬっていう時には、もうタイトルで『死ぬ』っていう感じで予告されてた状態だったので。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「事件があって巻き込まれて、生きるか死ぬかわからないところがおもしろいのに、もう予告されちゃってるっていうのがあったんで。それでだんだん、その予告を見ると結局、最終結末的なのが、そのシーンで出てきちゃうんで、『ああ、そういう流れで次回は終わるんだ』っていうのが見えてしまったので。見れたら見ればいいかな、くらいで。事件で呼び出されたりっていうのは、一応波としてはあるんですけど。自分がドキドキ感というのは、予告で知ってる部分があるのもあって、他より、自分の中で気分の高まりみたいなものは少ないですね。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

3. 見続けられるドラマ

< 具体的な発言事例 >

展開が読めない、変化がある

「女王の教室」

「ただ淡々と話が進んで行く感じじゃなくて、次々に先生の標的になる子が変わるんですよ。その子にもなんかいろいろ裏事情みたいなのがあって、そういうのも予告でチラッとやるんで。それで、次も見ようかかっていう感じになりますね。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「割と今までは、生徒の方がすごい問題児で、先生がそれを更生する、みたいな話が多かったんですけど、今回は先生がすごいひどい先生で、生徒がそれに立ち向かう、みたいな話だったので。今までとちょっと、それは違うかなと思って。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「(盛り上がるシーンは)生徒と先生が、すごい反発し合うところ。その先、その先生と生徒はどういう風になるんだろうっていうのがあって。(『女王の教室』の最終回は)予測できないですね。(最後まで見たい?)はい。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「生徒が不幸っていうか、泥沼にはまるみたいな感じのドラマなんですけど、でも、ある時を境に、何かあるのかなって。このままこの感じでいかなって思うんだけど、なんかどっかで展開っていうか、変わったりするのかな、とか。もっとそこを見たいかなと思って。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「(見終わると)『はあ〜』って。『こういう形で終わったの?』みたいな終わり方。スッキリではないかな。1つ難関を越えた、でも次にまた、次回はどうなるんだろうっていう感じ。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「(見続けているのは)最後はそのクラスがどういう風に卒業していくのか、気になるから。」

< G 15歳未婚女性 高校生 >

「そのクラスの先生のプライベートっていうか、学校以外での素顔っていうか、そういうところが見たいなって。学校のシーンぐらいいか映らないから、それは見たことない。(これから)出てきそうにもないかな。」

< G 15歳未婚女性 高校生 >

「つい最近見たCMで、『ここにいたんですか?』みたいな、昔を知ってる人が(天海祐希に)しゃべりかけてるシーンがあって、『ああ、そろそろなんかわかるのかなあ』って感じなんですけど。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「この先生はどうしてこんな風に、たぶん前からこんなじゃないだろうなってのはあると思うんですよ。で、なんでこんなになっちゃったんだろうっていうのはすごい気になりますよね。もしかしたら、ひょっとしたら先生は結構ほんとはいい人なんじゃないかとかって。いつかなんかすごいいい人になっちゃうのかしら、みたいな。それともこのままこうなのかしら、とか。すごいそれが気になる。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

「『女王の教室』はもうちょっと早く見たい、みたいのありますよね。その先生の正体は、ほんとはどうなのかな、みたいな。(スピード感)はちょっと遅いかも。たぶんそのまだ途中だから結構じらしてるのかなってというのが、早く見たいなって。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

「その先生の正体がまだわかんなくて、これからわかりそうな感じの展開になってるんで、最後まで見たいなって。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「そのドラマにもよるんですけど、結末が見えてしまうドラマはそんなに、(1回見逃すと)『いいや』って思うんですけど、(『女王の教室』のように)先が見えないドラマは1回2回飛ばしても、気になって続けて見てしまうんですよ。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「やっぱり、謎が多いというか、展開的に、だんだん良くなってきてはいても、まだその先生の謎が多いんで、最後まで見ないとわかんないかなって。今までも(他のドラマでも)、謎が最後までハッキリ解決しないようなのは、最後まで続けて見てしましますね。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「比較的、テンポがいいというか、展開が早いというか、なんか波が激しい感じがあるんで、安心したかと思ったら、また子ども達に対して、試練じゃないけど辛いことがあったり。なんか油断のできないドラマっていう感じですかね。(1時間通して油断)できないなって。いつ、こう、子ども達が団結したと思ったら、先生の一言でまた波紋が、みたいな。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「ドラゴン桜」

「大きい波がないんですよ。なんか、小さい波がいくつもあのような感じなんで。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「『ドラゴン桜』は、ドラマが始まる最初の部分と最後の部分はちゃんと見てるんですけど、途中であんまり展開ないなとか思ったりすると、あんまり見てないです。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「予告で、次こういう展開になりそうだっていうのが流れてるから、『ああ、じゃあ、そうなのかな』って感じで。ちょっと最後の終わり方が、次回も見ないと気になるような感じの終わり方してるんで、それで『次も見なきゃ』っていう感じになりますね。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「(マンガを読んでいて)続きを知ってるので。内容としてはおもしろいと思うんですけど、もうそれほど先が気にならないっていうのかな。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「(見逃せないのは)やっぱり1回抜いたらあらすじがわからなくなる、っていうところが大きくて。それほど『見なきゃ見なきゃ』とは思わないです。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

3. 見続けられるドラマ

< 具体的な発言事例 >

展開が読めない、変化がある

「ドラゴン桜」

「なんか本当に東大に合格するのか、予想するのが楽しいってうか。(最後まで目が離せない?)はい。」

< G 15歳未婚女性 高校生 >

「どうやったら東大に現役合格するのか見てみたいから、最後まで見たい。どういう風な勉強方法とか、スケジュールとか。勉強をほとんどしない生徒が、先生の言葉でどういう風な心の変え方をしていくのか気になるから(その経過を見たい)。」

< G 15歳未婚女性 高校生 >

「気になる終わり方してないんです、この頃。なんかあんまりしてないんですけど、とりあえず、登場人物が、特進クラスの子達がみんな受かるのかしらっていう。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

「(途中で飽きてしまうようなシーンも)出てきますね。そういう時は何かこう、アイロンかけながらとかしてますね。用事をしながら。『ドラゴン桜』は1時間一生懸命見ている感じがしないかも、自分の中で。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

「『ドラゴン桜』はおもしろいシーンだけを見ればいいのかというのもあるんで、割と『ドラゴン桜』の時は、まあ用事しながらでもいいかなって感じですね。『ドラゴン桜』は、もっとそういうの(見逃せないシーン)があるかと思ったんですけど、思ったほどないかもしれないですね。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

「元からいた先生達が、何かするたびに『これはどういうことですか?』みたいな、文句とか言ってくるころは、もうちょっと少なくてもいいかなって。いっつも出てきちゃってるからもうパターンだから、出てこなくていいんじゃないって思う。『あ、また出てきた?』みたいな。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「受験やめるとか、そういう事件だけどなんか、結局元に戻る。戻らないとこのドラマはやってけないとか、予想がつくと、まあ別に気になるけどそんなに気にならない。『ドラゴン桜』は受験勉強とか、自分が勉強する中とかで考えると、すごい予想はつきやすい。(予想がつかない)方が好きですね。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「合格するまでのお話ってなってるんですけど、まだ先が見えないので。(おもしろ部分は)いろいろあるんですけど。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「女系家族」

「ドロドロと、主人公の人が実は何か秘密があるってうか、まだ何かこう、一悶着あるなっていうのがあるので、それがどういう風に今後出てくるのかなと思って、それで結構気になる。まだ何かあるんじゃないか、何か隠していることがあるんじゃないかなと。」

< A 25歳未婚女性 会社員 >

「愛人みたいな女の人(米倉涼子)が、何かを隠してるか、何か言われたことを隠して周りに言わないでいるみたいで、それがいつ出てくるのかなと思って。その、ストーリー的にどう転がるのかなってうので、結構欠かさず見てる。1回見ないと分かんなくなっちゃうかなと思って見てるんですけど。(いつか)何か出てくるんじゃないか。その節々に何かちらつかせるってうか、この人何か持ってるんだらうなっていうのを思わせるようなことが出てくるので、『あ、この人絶対何か知ってるな』って。『最後に何か出すんだらうな』と思って、それで見てるんですけど。最初に出しちゃったらつまらないので、やっぱり引っ張って最後に出した方がいいんだらうなって。」

< A 25歳未婚女性 会社員 >

「大体は自分の中で想像はあるんですけど(話の展開が見えそうで見えない)。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

「たまに『女系家族』は、先がちょっと予想できそうな時は飽きちゃう。いろんなことが起きてて、重要な人が出てきたら、『この人が出てきたってことは、こういう展開になるんじゃないか?』みたいな。姉妹なんで、その人達にも目的があるんで、この人が出てきたらこの目的のことが起きる、みたいな。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「なんか遺産の話なんで、その遺産が最終的にどうなるのかってうのが、すごい気になってるし。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「遺産のそういういろんな土地をやってる人(橋爪功)が、いろいろ悪さしてて。その悪さをしているところとかは、結構重要かなって思って、そこは見逃さずに、チェックして見てるってうか、普通に見てるよりはちょっと真剣に見る、みたいな。(そこを逃すと)わからなくなりそうかなと思って。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「いろいろその3姉妹が考えてることが、まだ微妙に出てきてないから、ちょっとわかりにくいところはあります。はっきりわかっちゃうとつまらなくなっちゃうような気がするんで、今のままで、わかりそうでわからないぐらいが(いい)。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「結構、終わりに近づいてるんで、微妙にいろんな人の考えてることが見えてきたってう感じなんで、はっきりわかるまでちゃんと見たいなって。1週間は待てるけど、絶対もう、見れなかったとしても絶対、次の日にはビデオで見る、みたいな。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「最後どうなるか、やっぱり気になるんで。まだいろいろ秘密持ってるんで。そういうの考えると、やっぱり最後まで見ようかなって。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

3. 見続けられるドラマ

< 具体的な発言事例 >

展開が読めない、変化がある

「いま、会いにゆきます」

「あえてドラマでも見たんですけど、やっぱりちょっと映画とは違うところがいっぱいあって、これからどうなるのかなっていう、展開がすごい一番おもしろいかなって。次どうなるかっていうのは映画のストーリーとあまり変わらないので、まあ大体は知ってるんですけど、ドラマで言う最後どうなるのかなってというのが、またちょっと映画とは(違って)、オリジナルが加えてあって、どういふ風に終わってくのかなってというのがすごい気になる。だんだんこう、見てるうちにその展開のおもしろいのがどんどん見たいなっていう気持ちに変わって、最後どういふ風に終わるのかなって、今はそれが楽しみ。」

< A 25歳未婚女性 会社員 >

「(ドラマと映画は)違ってるからおもしろい。一緒だとたぶん見てなかったかなって。」

< A 25歳未婚女性 会社員 >

「ちょっと映画にはない展開があったりとかすると、『こういう裏があったのかな』っていう風に。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「『いま、会いにゆきます』も最初の方は見てたんですけど、やっぱり映画の方がすごいハマってたっていうか。そっちの印象の方が強かったんで、あんまりおもしろくないなっていうのと、あと、映画とまったく話が一緒なんで、もう内容がわかりきっちゃってるから、1話の流れがすごい遅く感じちゃって。それもあって今は見てないんですけど。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「どういふ結末かとかは知らないんですけど、他のドラマよりかはそんな気にならないです、続きが。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「前回の始まりはちょっと気になってたんですけど。前の週の終わりが、彼女(ミムラ)が死んだって知ってるのに、同級生の子(岡本綾)が家に来て、彼女がドア開けちゃったから、『えー』ってとこで終わって、『え、どうなっちゃうの、どうなっちゃうの』って、それはちょっと気になって。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「がんばっていきまっしょい」

「なんかすごいわかりやす過ぎたりしてて、終わりが見えてる感じがしちゃうので、もうちょっと驚かす展開があればいいのになって。見え過ぎてるのはちょっと嫌だなと。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「なんとなく、大体1回目は、見れるのは見てるんですね。最初、初回見て、ポート部がそんなに興味がないっていうか。今後、話がおもしろくなるとしたら恋愛系しかないんじゃないかな。なんか大会に出るとか、それくらいしかないから。特に『どうなるんだろ?』って気にならない。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「『がんばっていきまっしょい』も(見ている最中に)やっちゃいますね、メールを。なんか、特に画面をずっと見てるっていう感じがしないんですよ。音聞いてればわかるかなって。あんまり出演者の表情とかわかるようにしてない。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「(見終わった後は)特に残るものはないですね。(次の週が)気になることはないです。『ああ、次回も頑張ってるね』みたいな。(山場がない?)そうですね。なんか穏やかに進んでる感じの印象はします。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「『がんばっていきまっしょい』は見てたんですけど、(今は)見れたら見るっていう。特に次がどうか気にならなくなっちゃったというか。なんだろう、ありがちって思ったのかもしれないですね。今までのドラマとそんな変わりがなく、それがただポートになったってだけで。何かと似てるとかいうよりは、よくあるパターンかなっていう。やっぱ部活の中で、衝突して、仲良くなって、みたいなところ。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「(『がんばっていきまっしょい』を見る時は)何かしながらでしたね。そこまで見たいって感じではなく、一応、ドラマの展開としてどうなっていくのかな、くらいで見ればいいのかって。同じことを繰り返すって言ったならあれなんですけど、展開が同じというか、繰り返されているような感じで。ハプニングはいろいろあるんですけど、それほど意外性がない感じのハプニングで。ただ繰り返されてる感じの印象が。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「(ハプニングは)あるけど、またなんか結局、うまくいって、で、またなんかあって、うまくいって、みたいな感じで。で、そのやりとりが、だんだんじれたいような感じのやりとりになってきたりして。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「救命病棟24時」

「やっぱり1話1話変化が何かしらあった方が、見たいって思う気持ちがすごいあるんじゃないかな、だから続きよりも。」

< A 25歳未婚女性 会社員 >

「手術のシーンとかも、それなりにテキパキ流れていって、ずっとその緊張が長かったら疲れちゃうと思うんですけど、その辺がキリがいい。ちょうどいいくらいで終わった後のまた展開になっていって、ちょうどいいというか。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

3. 見続けられるドラマ

< 具体的な発言事例 >

展開が読めない、変化がある

「離婚弁護士」

「訴訟っていうか、ドラマでやってく形なんですけど、やっぱり予想通りじゃない、こういう解決策なんだって、すごい感心する終わり方が結構多くて、早々できないことだと思うし、終わり方で(感心する)。終わりもおもしろいから。解決の仕方が。ちょっと思わぬ解決策が出てきて終わるっていうか。すごい納得できるっていうか。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「『離婚弁護士』は好きで見ましたね。絶対、弁護士とかで勝つっていうか、毎回毎回起きる依頼に対して解決するっていうのはわかってるんですけど、その経過が予想がつかないという感じですね。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「anego」

「おもしろくて、飽きなかったですね。毎回違う問題が起きて、自分の恋も発展していった。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >

「(次も早く見たいと思うのは)主人公(篠原涼子)が、こっちが予想してない強気な発言を、男性に対してするとか。どうなっちゃうんだらうって、次はどんなこと言っちゃうんだらうって。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >

「赤西仁とのやりとりで、横に字が出てくるところがあって、心の声じゃないですけど、あれがすごいおもしろいなって。会話だけじゃなくて、気持ちも伝わるといいうか。初めてな感じで。気に入ってました。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >

「『anego』のやつ(横に出てくる文字)の場合は、途中で文字がふわふわ～って消えちゃうんですね。それを読もうとする篠原涼子の顔がおもしろかったり、こっちも一緒になって考えちゃったりとか。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >

「篠原涼子と赤西仁の2人の関係とか。あと、山口紗弥加と、職場のもう1人の男の人(山口馬木也)とのやりとりとか。あと篠原涼子とその職場の女の子達の関係とか(がおもしろかった)。『anego』もやっぱり次の週に早くなって欲しいな、というのはあって。内容としても割とおもしろかったんじゃないかなって思います。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「セリフとか。なんか篠原涼子がすごい、カメラに向かって、独り言のように語りかけてるところとかはおもしろいなと思いました。あと、なんか気持ちが字幕みたいになって出てきてたところとか、すごいおもしろかったですね。(新鮮な感じ?)そうですね。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「心の気持ちがパーって、テロップみたいの出たりとかして、そこでは笑ってたし。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「考えてることが文字になって吹き出てるのがおもしろかったです。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「琉璃の島」

「主人公の女の子が都会から島に来て、いろいろ自立したりとか、成長したりとか、そういうところを見ると、次はどんな風に変わっていくんだらう、みたいなのが。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「突発的にたまたま事件が起きるんで、そういうのが起きた時とかはなんか続き気になるなって。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

3. 見続けられるドラマ

「ワクワク、ドキドキ、ハラハラ」で興味を持続させる

次回どうなるか展開が読めないときには期待が膨らむ。どういう方向に展開するのか、展開が読めないほど、興味深い。次回放送の展開に対する期待は、ドラマを見続ける上で重要な要素であるが、「ワクワク、ドキドキさせる」、「ハラハラさせる」ことは、興味を持続させる上では、より重要な要素となる。「ワクワク」、「ドキドキ」、「ハラハラ」は人間の感情に強い印象(インパクト)を与え、「続きが見たい」という意欲を倍化させる。実際に、ハラハラする時が多いときほど次回の展開が気になるという発言が多くみられた。

< 発言まとめ >

「スローダンス」

ワクワクするという感じが少ない

何か起こりそうだけど、起きなかった。次に見たいという気が薄れる

期待を裏切るようなサプライズがあってほしい

「電車男」

「次どうなるんだろう」と次週をドキドキしながら待っている

「海猿」

「プールでの練習シーン」、「救助しているシーン」、「出勤要請があって救助に向かう慌しいシーン」は緊迫感があって、ドキドキする

「何か事件があるのか」、「死んでしまうのか？」

ハラハラする時が多いと次回が気になる。淡々として盛り上がるシーンがなかったら次回は気にならない

緊迫するシーンと心暖まるシーンの2つがあってよい

「女王の教室」

ハラハラして、油断のできないドラマ

「ドラゴン桜」

「勢いがある感じ」、「ハラハラする」

ワクワク感がある (試験結果が出るシーンなど)

緊張するシーンはあまりない(突発的な事件はあまりない)

3. 見続けられるドラマ

<具体的な発言事例>

「ワクワク、ドキドキ、ハラハラ」で興味を持続させる

「スローダンス」

「なんか急に展開が変わってかかってというのは、あんまりない気がしますね。どちらかという、(淡々とした)感じがしますね。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「(『スローダンス』は)そんなにワクワクとか、あんまり展開的にというより、客観的に見ているタイプで、あんまり共感とかそういうのがないんで、ちょっと見方が他とは違うっていう。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「『スローダンス』の方は恋愛っていうのもあって、ある程度、相手が決まっちゃうと、いろいろあったとしても、なんとなくやっぱり流れが見えてきてしまうかなっていうので、あんまりワクワク感とかはなかったりしますね。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「(『女王の教室』に比べて『スローダンス』だと)そこまで、ハラハラする感じではないですね。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「電車男」

「(『電車男』を見終わると)なんかすごいワクワクっていうか、次も見たいなっていう楽しい気分になります。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「(『電車男』は最後まで)見たいですね。2人は仲直りできるのかな、とか。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「(自身の中で、ドキドキ感があるドラマは)おもしろいとか、また見たいなって思いますね。『ドラゴン桜』と、まあ『電車男』も比較的そうですね、波がくるんで。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「海猿」

「ちょっと毎回ピンチの時とかがあったりして、いい意味で緊張感が出ていいかな。(結構ハラハラする感じ?)そうですね。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「(『海猿』は)命を懸けた、ドキュメンタリーみたいなのも入った、男の友情とか。ヒヤヒヤする、危険な展開もあり、みたいな(ドラマ)。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >

「(『海猿』で浮かぶシーン)潜って救助してるシーンとか、プールで練習してるシーンとか。出勤要請がかかって、パタパタってなって、一気に海にという。あわただしい、緊迫してるっていう。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >

「(『海猿』を見終わると)力が抜けるっていうか、緊張してるんで。(毎回)ドキドキしますね。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >

「今までに1人死んでしまって、昨日も1人死んでしまって、だから、何か事件があるのかなって。そういうのは気になりますね。ケガしたりとか、死んでしまったりとか。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >

「(続きが気にならないのは)すごいハラハラしたところがなかったりとか、それほどおもしろいなって感じなかったんで、(1回目と2回目の時は)続きがあんまり、大して気にならなかった。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「なんか最初のうちは、割と淡々としてるっていうか、すごい盛り上がるシーンとかがなかったような感じがしたんですけど、徐々にそういうシーンが出てきて。それでおもしろいかなと思うようになりました。やっぱり救助とかに行ったりするところとか。あとは、海とかに出てくるシーンじゃなくて、違う、日常生活の方とかでの人間関係とか。(救助に行くシーンはハラハラする?)そうですね。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「結構、緊張する時がありますね。船が出て、命が懸かってる時。船が出て、命に関わる仕事をして、でも陸の方ではそういう大事な人が心配して待ってるとか、そういうところは見てて見ごたえがあるんで(一番盛り上がる)。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「本当に命懸けて、そういう任務とかをやっててそういう(潜水士達の)心理もあるし、心配する人もちゃんと映してくれてるし。あと、マンガ読んでんですけど、マンガもそういうところがあって、まあ忠実に再現してあって。そういう『ブラックジャックによるしく』とか、ああいうちょっと緊張するドラマが好きなんで。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「いつ呼び出されるかっていうハラハラさはあるんですけど、どうい現場かっていうのは、次に起こる呼び出された理由っていうのは、大体予告で見えてしまっているんで。そろそろ始まったな、みたいな感じになって。他のより、意外性っていうか、心の準備ができて分、ハラハラっていうのはそんなにしないですね。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

3. 見続けられるドラマ

< 具体的な発言事例 >

展開が読めない、変化がある

「女王の教室」

「(見終わると)『はあ～』って。『こういう形で終わったの?』みたいな終わり方。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「恐怖の緊張みたいな。いつ、その先生が(現れるか)。現れる時に画面が暗くなって、先生の歩いている音がカツカツ鳴ってくるんで、『ああ、来たよ、どうしよう』みたいな。恐怖でドキドキしたり、緊張したり、みたいな。なんか画面見てて、いつの間にかフワって段々暗くなってきて、『あ、来る、来る』みたいな。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「気になる終わり方をするので、『すごい気になる』っていう感じでいつも終わってる印象がありますね。(早く次も見たいですね。(1時間通して油断)できないなって。いつ、こう、子ども達が団結したと思ったら、先生の一言でまた波紋が、みたいな。(それに比べて『スローダンス』だと)そこまで、ハラハラする感じではないですね。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「ちょっと怖さもあるんで、なんかドキドキっていうよりは、たしかに(自分の中での気持ちの)高まりもある意味そういうのはあるんですけど、感覚的にちょっと違う感じがしますね。怖い話じゃないんですけど、謎が多いやつって、ドキドキも違うドキドキですよ。怖いというか、恐怖感もちょっとあったり。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

「ドラゴン桜」

「結構なんか勢いがあるって感じだったんで、見てみようかなと。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「あんまり緊張とかしてるとかそういうシーンはなくて、軽い気持ちで見てるんで。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「(自身の中での、ドキドキ感があるドラマは)おもしろいとか、また見たいなって思いますね。『ドラゴン桜』と、まあ『電車男』も比較的そうですね、波がくるんで。」

< L 25歳既婚女性 専業主婦 >

3. 見続けられるドラマ

すっきり感がある、スカッとする

「ごくせん」に代表される、視聴後にスカッとした気分になるドラマの受けがよい。番組中に、主人公がお決まりのパターンで啖呵を切るシーンを見逃せないという人が多い。その背景には、通常、言えないようなことを代わりに言ってくれるという側面があり、ストレス解消になるようだ。また、日常生活では包み隠してしまうようなこと、そこまでは言えないというようなことを説得力ある言葉で代弁してくれるのが好評価の要因である。しかも、力強い女性の迫力ある発言は、さらに爽快感までも与える。社会生活において現実にあるわだかまりやストレスを、すっきりと解消させるドラマが、今まさに、望まれている。

< 発言まとめ >

「電車男」

見た後に気持ちがすっきりする、モヤモヤ感が残らない

「海猿」

(時任三郎が) 皆が言いづらいことを言うので感動する(毎回1、2回)

「女王の教室」

見ていて「スカッとする」場面がある

説得力のある言葉で、自分を代弁してくれる

大人になったらこうなるという厳しい現実を垣間見られる。間違ったことは言っていない(結構、先生は正しいことを言っている)

「説教シーン」(緊張するシーン)は迫力があるので見たい

「目覚めなさい」、「あなたは話しかけないで」といったセリフは見逃せない(耳に残る)

主役の無表情な顔、服装、立ち居振る舞いも見ごたえ(恐怖の緊張)がある

「ドラゴン桜」

主人公が生徒に向かってズバツと言う決めゼリフは「すっきりする」、「潔いところが気持ちいい」、「ストレス解消になる」

「なるほどと思える」、「言っていることは的を得ている」、「そう言えたら気持ちいい」

見終わるとスッキリした感じがするドラマ

「女系家族」

人間の本性が見える

家族の人間関係でドロドロとしたところ、隠さずにすべてをさらけ出しているところがよい

「anego」

主人公が予想していない強気な発言をするところは、すっきりする(強い女性が見たい)

「自分がそうになりたい」、「自分ができないことしている」など、自分を代弁してくれている

「ここまで言えてすごいな」、「本当なら言いたいのには言えないことを言ってくれる」

「ごくせん」

「主役が啖呵を切るシーン」はすっきりする、ストレス解消になる

見終わった後、すっきりする

主人公が生徒に向かって「私はお前たちの味方だ」というセリフがいい

おさまりの「取っ組み合いのシーン」はスカッとするから見たい

「離婚弁護士」

主人公がはっきり、すっきりとした性格で気持ちいい

いい意味であっさりしていて、歯切れよい

爽快なドラマ

3. 見続けられるドラマ

< 具体的な発言事例 >

すっきり感がある、スカッとする

「電車男」

「他のドラマとは違って、見た後に気持ちがスッキリするっていうか、あんまりモヤモヤ感が残らないです。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「海猿」

「時任三郎が、すごいいいことを言うので、そういうところは好きですね。ジーンとするようなこととか。あと、みんなもわかっているけど、ちょっと言いづらいようなことを言ったりとか。(ジーンとするシーンは1時間の中で) 1、2回とかそのくらい。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「女王の教室」

「ああいう先生(天海祐希)役っていうのいなかった。やっぱり新鮮だし、言ってることは間違っていないので、なんか見ててスカッとした気持ちになります。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「先生役の人(天海祐希)が、なんか名台詞っていうか説教みたいなことをしたり、一言だけだったんだけど、でもすごい説得力のあることを言っていたりとか。(そういうセリフを) 言うと、『ああ、それ言いたかったんだよね』とか、そういう(スカッとした)感じになります。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「(逆に) そういうのをあからさまに出すのもいいんじゃない、みたいな。前まで学園ドラマとかだと、先生がすごい人だったりとか、怖いけどいいこととしてたかあったんですよ。(天海祐希は) 全然いいことはしてなくて、でも、言ってることは間違っていないので、自分が小学生じゃないっていうのもあるんですけど、どっちかという先生の考え方に共感できるから、『いいな』、『そういうのいいな』って。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「正しいこと言って、でも迫力があって。(見終わると) すっきりする感じがします。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「やっぱり、教師役の天海(祐希)さんが、『いい加減目覚めなさい』だったかな、なんかそういうセリフを(言うところ)。大抵毎回言っていた気がします。なんかセリフが耳に残る。迫力ある。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「先生と生徒の会話。なんか生徒が先生に話した時に、『あなたは話しかけないで』みたいな感じで言われたところがあるから、そこが(見逃せない)。その時に、その生徒に対して言う先生の言葉が、結構正しかったりすることが多いから、そこは見所だな、と。」

< G 15歳未婚女性 高校生 >

「子ども達もがいている姿よりも、天海祐希さんのあの無表情なアレを見たいっていうのがありますよね。たぶん子ども達側で見ちゃうと、もうこんなの見たくない、かわいそう過ぎて見たくないってなっちゃうと思うんですけど、なんか一歩引いて、先生のあの服装とかあの立ち姿とか、それだけでなんかおもしろい。子ども達の立場からしたらそんなこと言ってもらえないんでしょうけど。でも見る側としては、とにかくあの天海さんの意地悪なところを見ちゃうとすごく嫌な気持ちになったりなんかあると思うんですけど、そうじゃなくて、あのクールさって、なんて言ったらいいんだろう。『離婚弁護士』ってすごいコミカルな役ですよ。それとも真逆で、そのクールさがおもしろいっていうか。そんな感じかな。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

「今ドラマとかに出てくる先生に限ってですけど、割となんか、『ごくせん』って生徒に対してスカッと言うところが気持ちいいとあって、生徒とか親に対して媚を売ってないっていうか、で、あれがたぶん『ごくせん』ですごい気持ちよくて、でもそれは正義に乗っ取ってのかわこさだったじゃないですか。でも、『女王の教室』はまた逆で、正義じゃないと思うんですけども、その先生が媚びないところとか、そういうところがすごい理不尽なだけどもなんかおもしろいっていうか。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

「ドラゴン桜」

「なんかセリフは結構キツイ。『バカだ』とかなんとかがんとか言ってた。見ててたぶん気持ちいいかなって思って。そのセリフがすごい的を得て、ズバツと、もう、言いたくても言えないことを言っていて、それもなんか見てて気持ちいいですし。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「(見終わると) ちょっとストレス解消っていうか、見ててスッキリしますし。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「(見終わった後は) 『結構すごかったな』みたいな感じ。ケンカのシーンとかもあって、『こんな言葉相手に言えるんだ』みたいな。教師が生徒に、なんか『お前はバカだ』とか、『ブスとバカは東大に行け』とかそういう感じ。理にかなってなるって思うから(スッキリする)。言えたら気持ちいいだろうな、みたいな。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「(見続けているポイントは) 決めセリフっていうか、こう潔いっていうか、阿部(寛)さんの先生ぶりっていうか、が、結構気持ちいいから。なんかはっきりしてて。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「はっきり、サバサバした人が好きなので、(『ドラゴン桜』の阿部寛)は見てて気分がいい。スカッとする。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「その先生(阿部寛)が言ってることは、説得力があるのが伝わってくる。すごい生徒に伝えたいっていう、そんなような気持ちが出てるとは思います。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

3. 見続けられるドラマ

< 具体的な発言事例 >

すっきり感がある、スカッとする

「女系家族」

「あんまり周りのことを気にせず自分を剥き出しにして、何か女だけの、男の人にはないそういうドロドロをすごい表に出しているの、隠さず出すのがすごいなと思って。」

< A 25歳未婚女性 会社員 >

「もう全然隠す様子がなくて、常に何かを企てるみたいなの、そういう感じで。女の人のドロドロもそうなんですけど、常に1人1人がお互いに探り合っていて、『あの人次何してくるんだろう』みたいなのをすごい探り合ってる姿がちょっとおもしろいなと思って。」

< A 25歳未婚女性 会社員 >

「遺産とか関わってくる人間の血の汚さとかいろいろあるんですけど、そこをなんか割と、どの役者さんもおもしろくやって下さっているの、それがこう一歩引いて見ると、『ああ、こんななっちゃうんだ』みたいな。そんな感じで楽しんでいます。(人間の本性みたいな)そんな感じ。」

< J 32歳既婚女性 専業主婦 >

「anego」

「(次も早く見たいと思うのは)主人公(篠原涼子)が、こっちが予想してない強気な発言を、男性に対してするとか。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >

「(篠原涼子)の役柄が、強い女性というか、本当は弱いんだけど強い女性、そういうのが、いたらいいなって。(強い女性が見たいのは)自分もそうなりたいたいからかな。(強気な発言を自分では)言えない、自分じゃできないことをしてるから、憧れるというか。」

< D 28歳既婚女性 会社員 >

「なんか『ここまで言えてすごいな』っていうのがあったりとかもしますけど、でも自分だったら言えないから、言えるのはいいな、みたいな。」

< E 19歳未婚女性 大学生 >

「(主役(篠原涼子)の強気な性格)は良かったと思います、あれで、あんまりなよなよしている女の子らしい感じより、かっこいい感じの方がいいな。その方が現実味があるかな。そんな女の子らしい人はいないでしょ、という、かわいらしい感じより、かっこいい方が好感が持てる感じが。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「ごくせん」

「(仲間由紀恵が啖呵を切るシーン)そこだけちょっと緊張感みたいな出て、ボケてるだけじゃないんだなっていうの、ありますね。(それを見てスッキリすることは)ありますね。(ストレス解消になる?)そうですね。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「やっぱケンカしたりとかしてて、スッキリしますし、なんか妙に疲れます。(見終わると)スッキリするんですけど、(見入り過ぎて)疲れもします。」

< B 21歳未婚女性 大学生 >

「やっぱり、絶対必ず1話のどっかで先生が登場して、取っ組み合いみたいなのをやったりっていう、お決まりだったんで、毎回それが見られるだけでも楽しいなって思いましたね。」

< C 18歳未婚女性 高校生 >

「主人公(仲間由紀恵)が生徒に向かってハッパをかけるというか、『私は味方だ』みたいなことを言う、いいこと言うなって、なかなかこういうこと言う人とかいないな、とか。(感動する?)そうですね。(仲間由紀恵)が強烈な性格って感じ。(見終わった後は)スッキリ。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「(好きだったのは)仲間由紀恵さんが戦ってるシーン。スカッとします。(3作目が放送されるとしたら)同じように啖呵を切っただけ欲しい。やっぱ熱血的な感じがするし、普通の先生とはちょっと違うっていう感じが、やっぱドラマっぽいというか。これは全然現実とは違う感じがおもしろいんです。」

< I 20歳未婚女性 大学生 >

「なんか先生がすごい生徒のためにがんばって、いろいろ失敗したりとか、ぶつかったりとかしてるのが、『金八先生』とは違うおもしろさ。『金八先生』は終わった後、しみじみした感じで終わってるけど、『ごくせん』はさわやかに終わってるような。スッキリした感じで。」

< K 18歳未婚女性 高校生 >

「離婚弁護士」

「でも1回目見ていたら、すごいおもしろくて、主人公(天海祐希)が、やっぱり、はっきりくっきりした性格で。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「爽快な(気持ちになる)。やっぱりあの最後の解決の仕方が、すごい納得できるっていうか、いい意味であっさりしてて、嫌味がない終わり方。」

< F 26歳未婚女性 アルバイト >

「(天海祐希の役柄)は見ていて気持ちいいですね。仕事さっぱりやるし、でも、ユーモアっていうか、おもしろさもあるし。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

「はっきり、サバサバした人が好きなので、(『離婚弁護士』の天海祐希)は見てて気分がいい。スカッとする。」

< H 26歳未婚女性 会社員 >

人はコンビニエンスストアのレジで何分待てるだろうか？おそらく大抵の人は1分と待てないでイライラするに違いない。また、インターネットの普及で、欲すればどこからでもすぐに商品が手に入ることが当たり前になった。「待てない」、「我慢できない」は若者だけではなく、現代に生きる日本人すべての大きな特徴である。

テレビドラマにおいても、「待てない」、「我慢できない」の兆候は随所に現われている。携帯電話やパソコンをしながら同時に視聴する「ながら視聴」が日常化する中で、最後の盛り上がる場面まで楽しみを待ちきれず、飽きてしまうことが少なくない。

また、ファミコンやゲームで育った世代は、画面展開の早さに慣れ、視覚による刺激をますます好むようになってきている。

こうした環境下においては、単に、有名大物タレントによる吸引、ストーリーによる情動喚起、高度なリアリティの演出だけでは、もはや視聴者を継続してひきつけることは難しい。

どんなに感動するストーリーであっても、間延び感がある、ゆったりとしたドラマは飽きてしまう可能性が高い。今、この時代には、テンポがよく、画面展開のスピードがあるドラマが求められている。

また、一定の間隔で、次から次へとストーリーを展開させ、継続的な刺激を与え続けなくては、視聴者は別のことに気が移ってしまう。徐々に盛り上げていく構成ではなく、1回の番組の中でも、一転二転する、予想外のことが起きるなど、飽きさせない工夫が必要である。

そのために必要な要素は、「ハラハラ」、「ドキドキ」、「ワクワク」であり、ドラマを「見続けるかどうか」は、そうした感情を強く刺激できるかどうかにかかっている。

時代の反映は、「待てない」、「我慢できない」といった要素ばかりではない。官公庁、企業による隠蔽体質への批判といった社会現象までもがドラマに反映している。「ごくせん」に代表される「スカっとするドラマ」は時代の要請でもある。通常、言えないようなことを説得力のある言葉で代弁してくれる、特に、力強い女性の発言は、与える爽快感も強烈である。現実にある社会へのわだかまりやストレスをすっきり解消させるドラマが、今まさに、期待される。

トピックスリサーチ

テレビドラマのヒット要因に関するマーケティングデータ

発行日 2005年9月29日

発行・調査分析 朝日大学 マーケティング研究所
〒460-0002
愛知県名古屋市中区丸の内3-21-20
朝日丸の内ビル2F
TEL : 052-961-4576

お問い合わせ apost@dance.ocn.ne.jp